

令和8年度

高等部
年間指導計画
(シラバス)

沖縄県立八重山特別支援学校

令和8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2単位 /70	1年 6名、 2年 2名、 3年 8名		谷/田盛	『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。(高・2段階) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。(高・2段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高・1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 相手の目を見てはなし たり聞いたりするとともに、間 の取り方などに注意して話すこ とができる (思判表力) 話し手が伝えたいこ との中心に注意して聞き、話の 内容を捉えることができる。 (学・人) 幅広く読書をし、他者と 自分の思いや考えを伝え合おう とする態度を養う。	(知・技) 相手の目を見て話した り聞いたりしている。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこ と」において、話し手の内容を 注意して聞き、適切に理解して いる。 (主学) 図書館の様々な本に触 れ、興味を持つようとしている。 他者と自分の考えを伝えるなど 積極的に関わろうとしている。	・オリエンテーション ・図書館オリエンテー ション ・自己紹介・他己紹介 (インタビュー)をしよ う	・国語の授業に関するこ と(学習場所、時間割、授業の ルール等) ・1年間の授業内容、図書 館の利用方法を確認する。 ・自己、他己紹介に必要な 内容をインタビューし、ま とめ、発表する。
		(知及技) 文や文章の中で漢字と 仮名を使い分けて書くことがで きる。 (思判表力) 目的を意識して、書 く内容を決め、筋道の通った 文章となるように、文章全体の 構成を考え、まとめ、書くこと ができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考 えを伝え合おうとする態度を養 う。	(知・技) 積極的に漢字で書こう としている。 (思・判・表) 「書くこと」におい て、発表する内容の目的を意識 し、内容をまとめ、適切に書け ている。 (主学) 他者と自分の考えを伝え るなど積極的に関わろうとして いる。	・1年後の自分へ	・1年後の自分に向けて、 お手紙を書く。
		(知及技) 文章を読んで、作者の 考えとそれを支える理由や事 例、全体と中心など、情報と情 報との関係について理解するこ とができる。 (思判表力) 文章を読んで理解し たことに基づいて、感想や考え をもつことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考 えを伝え合おうとする態度を養 う。	(知・技) 本文の言葉(「誰が、何 を、どうした」等)を根拠に作者 の考えやそれを支える理由につ いて答えている。 (思・判・表) 文「読むこと」にお いて、文章を読んで自分の感想 を言葉で表現している。 (主学) 他者と自分の考えを伝え るなど積極的に関わろうとして いる。	・物語・説明文・詩を読 もう ・平和について考えよ う	・物語、説明文を読み、内 容を理解する。 ・平和に関する作品鑑賞。 ・絵本の読み聞かせ(他学 部交流)
		(知及技) 日常よく使われる敬語 を理解することができる。 (思判表力) 相手や目的を意識し た表現になっているかを確かめ たりして、文章を整えることが できる。 (学・人) 他者と自分の思いや考 えを伝え合おうとする態度を養 う。	(知・技) 相手や場面によって適 切な敬語を理解し、使っている。 (思・判・表) 「書くこと」におい て、間違いを正したり、お互い に文章を読み合ったりして、表 現を確かめ、文章を整えている。 (主学) 他者と自分の考えを伝え るなど積極的に関わろうとして いる。	・敬語の使い方(就業 体験、販売会に向けて) ・手紙の書き方	・敬語(丁寧語、尊敬語、謙 譲語)の使い方や電話のか け方、メモの取り方を学 び、実践する。 ・履歴書を書く。 ・お礼状を書く。

2 学期	3 0	(知及技)相手の目を見てはなしたり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人)他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技)相手の目を見て話したり聞いたりしている。 (思・判・表)「書くこと」において、発表する内容の目的を意識し、内容をまとめ、適切に伝えている。 (主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・夏休みの思い出 ・わかりやすく書くこと、伝えよう ・年賀状の書き方	・夏休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。 ・自分の「好きなもの、おもしろいもの」を考え、説明をまとめ、ICT機器を使って発表する。 ・年賀状を書く。
		(知及技)親しみやすい古文の文章を音読し、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)音読を通して、描かれた情景や作者の気持ちを具体的に想像し、表現することができる。 (学・人)多くの作品に触れ、読書に親しむ態度を育てる。	(知・技)古典特有のリズムに親しみ暗唱や音読をしている。 (思・判・表)「読むこと」において、作品の時代背景や古典特有のリズムをもとに、作者の気持ちを想像し、表現している。 (主学)時代の異なる様々な文体や作品に触れ、親しもうとしている。	・古典文学や沖縄の文芸に親しむ ・本に親しむ	・古典文学や郷土の古典芸能(組踊、琉歌)を学ぶ。 ・図書館の本を活用した学習活動や読書標語創作を行う。 ・絵本の読み聞かせ(他学部交流)
3 学期	1 4	(知及技)毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧や文字の大きさ、配列などに注意して書くことができる。 (思判表力)自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学・人)他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技)文字の位置や行間に注意して書いている。 (思・判・表)「書くこと」において、今年目標を決め、それに合う言葉を毛筆で表現している。 (主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・冬休みの思い出 ・書初め(新年の抱負)	・冬休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。 ・毛筆で今年目標を書く。
		(知及技)短歌や俳句独特のリズムや言葉の響き、技法に親しむことができる。 (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結びつけて具体的に想像することができる。 (学・人)多くの作品に触れ、短歌や俳句に親しむ態度を育てる。	(知・技)古典特有のリズムに親しみ暗唱や音読をしている。 (思・判・表)「読むこと」において、作品の時代背景や表現技法をもとに、作者の気持ちを想像している。 (主学)様々な作品に触れ、短歌や俳句に親しむことができている。	・百人一首 ・短歌、俳句	・百人一首(坊主めぐり、散らし取り、競技かるた) ・短歌、俳句の鑑賞、創作
		(知及技)日常よく使われる敬語を理解することができる。 (思判表力)相手や目的を意識して、敬語を使って話すことができる。 (学・人)他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技)敬体と常体があることを理解している。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、相手や場面によって適切な敬語を選択し、話している。 (主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・お世話になった先生や先輩に感謝の手紙を書こう	・感謝の手紙を書く。
		(知及技)考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学・人)他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技)本文の言葉(「誰が、何を、どうした」等)を根拠に作者の考えやそれを支える理由について答えている。 (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで自分の感想を言葉で表現している。 (主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・いろいろな情報の読解 ・1年間のまとめ	・生活に関わる読み物から必要な情報を得、知識を活用する。 ・1年間の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等	・通年を通して、小学校中学年から中学校程度の漢字の読み書きを学習する。				

令和8年度 高等部 1～3年 (II課程A) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材		
1/35	1～3年		村吉 多賀子	「ひとりだちするための トラブル対策」改訂版		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度						
年間目標 (知及技)社会生活に必要な事柄に関して様々な資料を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。(高・2段階) (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会へのかかわり方を複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を身に付ける。(高・2段階) (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、互いに協力してよりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身に付ける。(高・2段階)						
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	帯活動
1学期	13	(知及技)我が国の産業や工業生産について様々な資料を通して理解し、これらが国民生活を向上させていることを理解する。 (思判表力)世の中の様子、人物の働きや代表的な文化的遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の变化を捉え、表現する。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、互いに協力してよりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身に付ける。	(知・技)社会的事象に関する既知の情報を適切にまとめている。 (思・判・表)社会的事象に関する既知の知識を表現している。 (主学)社会的事象に関する既知・未知の知識を関連付けている。	オリエンテーション 【我が国の歴史】 【我が国の産業と情報との関わり】 ・究極の〇〇を作ろう 【公共施設の役割と制度】 ・校内外の防災施設について知ろう ・行政機関の働きについて	・一年間の授業の流れ ・食品に関する歴史、流通についてのプロジェクト学習 ・行政機関見学(市役所、裁判所等)	給食残渣処理
2学期	15	(知及技)外国の様子や社会生活について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 (思判表力)法律やマナーについて、自分の生活と結び付けて考え、表現する力を身に付ける。 (学・人)選挙について、よりよいあり方を考え自身の生活において主体的に活用しようとする力を身につける。	(知・技)外国の様子や社会生活について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。 (思・判・表)法律やマナーについて、自分の生活と結び付けて考え、表現する力を身に付けている。 (主学)選挙について、よりよいあり方を考え自身の生活において主体的に活用しようとする力を身につけている。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界と日本の役割 ・SDGsについての学び 【社会参加と暮らし】 ・身近な暮らしのルールやマナー ・選挙と私たち ・法律、人との関わり方	・JICA 出前学習等 ・給食残食プロジェクト学習 ・自分の行動で世界を変えよう ・身近な暮らしのルールやマナー ・行政機関見学(市議会)	
3学期	7	(知及技)社会的事象に関する情報を適切にまとめる技能を身に付ける。 (思判表力)社会的事象に関する知識を表現する力を身に付ける。 (学・人)社会的事象に関する情報や知識を今後の生活と関連付けようとする力を身につける。	(知及技)社会的事象に関する情報を適切にまとめている。 (思判表力)社会的事象に関する知識を表現している。 (学・人)社会的事象に関する情報や知識を今後の生活と関連付けている。	【我が国の国土】 一年間の振り返り	・一年間の振り返り ・今後に向けての展望	
留意点 引継ぎ等	・就業体験実習、交流学習と校外学習の関連付け、各活動の事前学習に対するスムーズな知識の接続が行えるようにする。 ・1、2学年は、令和7年度の計画に「地域や我が国の国土の地理的環境、歴史や伝統と文化および外国の様子」を盛り込む(2、3学年は、令和5年度で取り扱い済み)。					

令和8年度 高等部 II課程 A 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
2 / 70	1～3 学年		山城	AB グループ 数学★★★★★ C グループ 数学★★★★★ 共通：ひとりだちするための 算数・数学	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解する (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりする (学・人)数学で学んだことを生活に活かそうとする					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)数量や図形などについての既習事項を振り返る (思判表力)四則演算について振り返る (学・人)既習事項の定着に向けて、自主的に取り組む姿勢を身につける	(知・技)数量や図形などについての既習事項を解くことができている (思・判・表)四則演算を理解することができる (主学)既習事項の定着に向けて、自主的に取り組む姿勢を身につけることができる	・オリエンテーション ・既習事項の復習	・一年間の授業の流れ ・数学の知識の確認
	3 5	(知及技)数量について数学的に表現・処理する (思判表力)数量の関係から適切な式を立てる (学・人)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につける	(知・技)数量について数学的に表現・処理する姿勢が身につけている (思・判・表)数量の関係から適切な式を立てることができる (主学)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につけている	・四則演算 ・文章題 ・お金 ・時間 ・長さ ・割合	・計算方法を考えよう ・計算の仕方を工夫しよう ・お金の支払い ・スケジュールを立てよう ・身近な物の長さを測ろう
2 学期	1 5	(知及技)図形を構成する要素や図形間関係に着目し、構成の仕方を考察する (思判表力)図形の名称や性質、大きさが決まる要素を理解する (学・人)授業で学んだことを身近な図形へ関連付ける	(知・技)図形を構成する要素や図形間関係に着目し、構成の仕方を考察している (思・判・表)図形の名称や性質、大きさが決まる要素を理解することができる (主学)授業で学んだことを身近な図形へ関連付けている	・三角形と四角形 ・多角形 ・合同 ・相似 ・作図	・三角形と四角形の性質を知ろう ・いろいろな形を探してみよう ・合同と相似
3 学期	1 5	(知及技)量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る (思判表力)目的に応じてデータを集めてグラフで表す (学・人)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につける	(知・技)量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取ることができる (思・判・表)目的に応じてデータを集めてグラフで表している (主学)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につけている	・棒グラフ ・折れ線グラフ ・円グラフ ・帯グラフ	・グラフから情報を読み取ろう ・適切なグラフの種類を考えよう ・グラフを描いてみよう
留意点 引継ぎ等		・就業体験実習と関連付けて指導する。 ・学んでいることが生活につながっていることを実感できる題材を選ぶ。			

令和8年度 高等部1～3学年 II課程 A 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1～3 学年		東盛 揚	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 (思判表力)自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人)自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)1年間の授業の流れをつかむ。 (思判表力)理科の知識を表現できる。 (学・人)知っている知識を生活に生かすことができる。	(知・技)授業の流れを理解している。 (思・判・表)理科の知識を表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	オリエンテーションと知識の確認	・1年間の授業の流れ ・理科の知識の定着確認
	8	(知及技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解できる。 (思判表力)天気の変化の仕方について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決できる。 (学・人)天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かすことができる。	(知・技)天気は雲の量や動きと関係があることを理解している。 (思・判・表)天気の変化の仕方について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	天気と気温と台風	・気温を計ってみよう ・天気図をみてみよう ・なぜ台風のとき風が強いのか
2 学期	15	(知及技)生き物は色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解できる。 (思判表力)自然や生き物について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決できる。 (学・人)自然や生き物の姿について学んだことを学習や生活に生かすことができる。	(知・技)生き物は色、形、大きさなど、違いがあることを理解している。 (思・判・表)自然や生き物について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	八重山の自然と生き物	・校庭を散策しよう ・学校にいる生き物を探してみよう ・八重山(沖縄)の天然記念物

3 学 期	7	<p>(知及技) 水は温度によって水蒸気や氷に変わることを理解できる。</p> <p>(思判表力) 水の性質について、差異点や共通点などを見て、差異点や共通点を探し、表現するなどして問題解決できる。</p> <p>(学・人) 水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かすことができる。</p>	<p>(知・技) 水は温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 水の性質について、差異点や共通点を探し、表現している。</p> <p>(主学) 知識を生活に生かそうとしている。</p>	<p>温度と水のすがた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水を冷やしてみよう ・水を温めてみよう ・氷を触ってみよう(温度を感じてみよう)
留意点 引継ぎ等	<p>自然の事物・事象をできるだけ見せる(体験させる)ことに努めるが、できない場合にはICT 機器を効果的に活用していく。</p>				

令和8年度 高等部1～3学年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
2/70	1～3学年		外間・坂本	☆本	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について知り、音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 (思判表力) 音楽を自分なりの言葉で表現し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に対する感性を育み、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 範唱を聴いて、歌ったり歌詞を見て歌ったりすることができる。 (思判表力) 歌詞の内容を考え、歌い方を工夫することができる。 (学・人) 友だちの歌声や、伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。	(知・技) 範唱を聴いて、歌ったり歌詞を見て歌っている。 (思・判・表) 歌詞の内容を考え、歌い方を工夫している。 (主学) 友だちの歌声や、伴奏を聴いて声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・校歌 ・春の小川、花他、季節の歌など	・発声時に気をつけることをパワーポイントなどで視覚的に分かりやすく説明しながら発声する。 ・新年度を迎え、新しい仲間と明るく元気に声を出すようにする。
		(知及技) 簡単な楽譜を見て、演奏を楽しむことができる。 (思判表力) 楽器の基本的な奏法を学び、響きを味わいながら演奏することができる。 (学・人) 友だちの楽器や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。	(知・技) 簡単な楽譜を見て、演奏を楽しんでいる。 (思・判・表) 楽器の基本的な奏法を学び、音色や響きを味わいながら演奏している。 (主学) 友だちの楽器や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏している。	器楽 ・打楽器 ・トーンチャイムなど	・打楽器等を使用して、楽曲の雰囲気のリズムで表現する。 ・個別に分かりやすい楽譜を作成するなど、見やすい楽譜を用意する。 ・三和音を取り入れた、和音の響きを表現する。
		(知及技) 示範を見て身体を動かしたり、テンポやリズムに合わせて身体を動かしたりすることができる。 (思判表力) 音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて表現することができる。 (学・人) 友だちと動きを合わせて表現することができる。	(知・技) 示範を見て身体を動かしたり、テンポやリズムに合わせて身体を動かしている。 (思・判・表) 音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて表現している。 (主学) 友だちと動きを合わせて表現している。	身体表現 ・手話ソング	・歌詞の内容を手話で表現する。 ・体の色々な部位をたたきながら曲に合わせてリズムを表現する。
		(知及技) 鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力) 曲の雰囲気を感じとりリズムやテンポの特徴について理解できるようにする。 (学・人) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会に	(知・技) 鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表) 曲の雰囲気を感じ取り、リズムやテンポの特徴について理解している。 (主学) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など	・様々なジャンルの楽曲を用意し、パワーポイントや動画などで視覚的に分かりやすく説明しながら鑑賞する。

		おける音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	えながら聴いている。		
2 学 期	3 0	(知及技) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。 (思判表力) 歌詞の内容をイメージしながら、歌い方を工夫することができる。 (学・人) 友だちの歌声や、伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。	(知・技) 範唱を聴いて歌ったり歌詞を見て歌ったりしている。 (思・判・表) 歌詞の内容をイメージしながら歌い方を工夫している。 (主学) 友だちの歌声や、伴奏を聴いて声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・夏の思い出 ・赤とんぼ ・季節の歌など	・発声時に気を付けることを、パワーポイントなどで視覚的に分かりやすく説明しながら発声する。 ・歌詞の内容を確認し、曲想を感じながら歌えるようにする。
		(知及技) 簡単な楽譜を見て、演奏を楽しむことができる。 (思判表力) 楽器の基本的な奏法を意識して音色や響きに気をつけて演奏することができる。 (学・人) 友だちの楽器や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。	(知・技) 簡単な楽譜を見て、演奏を楽しんでいる。 (思・判・表) 楽器の基本的な奏法を意識して音色や響きに気をつけて演奏している。 (主学) 友だちの楽器や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏している。	器楽 ・キーボード	・ミニキーボードを使用して、簡単な練習曲を演奏する。 ・指番号の説明を丁寧に行い、指をスムーズに動かして演奏できるようにする。
		(知及技) 示範を見て身体を動かしたり、リズムに合わせて身体を動かしたりすることができる。 (思判表力) 音楽を聴き、様々な動きを組み合わせて表現することができる。 (学・人) 友だちと動きを合わせて表現することができる。	(知・技) 示範を見て身体を動かしたり、リズムに合わせて身体を動かしている。 (思・判・表) 音楽を聴き、様々な動きを組み合わせて表現している。 (主学) 友だちと動きを合わせて表現している。	身体表現 ・手話ソング	・歌詞の内容を手話で表現する。
		(知及技) 鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力) 曲の雰囲気を感じ取り、リズムやテンポの特徴について理解できるようにする。 (学・人) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	(知・技) 鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表) 曲の雰囲気を感取り、リズムやテンポの特徴について理解している。 (主学) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴こうとしている。	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など	・様々なジャンルの楽曲を用意し、パワーポイントや動画などで視覚的に分かりやすく説明しながら鑑賞する。
3 学 期	1 4	(知及技) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。 (思判表力) 歌詞の内容を考え、歌い方を工夫することができる。 (学・人) 友だちの歌声や、伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。	(知・技) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりしている。 (思・判・表) 歌詞の内容を考え、歌い方を工夫している。 (主学) 友だちの歌声や、伴奏を聴いて声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・卒業のうた	・発声時に気を付けることを、パワーポイントなどで視覚的に分かりやすく説明しながら発声する。 ・歌詞の内容を確認し、曲想を感じながら歌えるようにする。

	<p>(知及技)鑑賞についての知識を得たり生かしたりし、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(思判表力)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムやテンポの特徴について理解できるようにする。</p> <p>(学・人)鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。</p>	<p>(知・技)鑑賞についての知識を得たり生かしたりし、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。</p> <p>(思・判・表)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムやテンポの特徴について理解している。</p> <p>(主学) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴こうとしている。</p>	<p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など 	<p>・様々なジャンルの楽曲を用意し、パワーポイントや動画などで視覚的に分かりやすく説明しながら鑑賞する。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 高等部 1～3 学年 (Ⅱ 課程 A) 美術科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒		担当者	教科書 / 副教材	
2 / 70	1～3 学年		宮里 志織	なし	
目標: (知及技) 知識及び技能 (思判表力) 思考力、判断力、表現力等 (学・人) 学びに向かう力・人間性等 評価: (知・技) 知識・技能 (思・判・表) 思考・判断・表現 (主学) 主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 表現するための技術や知識を身につけることができる。 (思判表力) 主題を自ら生成し、色や形、素材を選択することができる。 (学・人) 作品を完成させるために、試行錯誤を繰り返しながら取り組むことができる。					
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) はさみとのりなどの道具を使って、手の輪郭を意識しながら折り紙を切って貼ることができる。 (思判表力) 担当する職員、級友を知り、美術室のルールを確認することができる。 (学・人) 美術に興味を持ち、意欲的に制作することができる。	(知・技) 道具の特性を理解し、手の輪郭を意識しながら切っ貼ることができる。 (思・判・表) 美術室のルールについて、なぜ存在するのかを級友を知り、美術室のルールを考える事ができる。 (主学) 試行錯誤しながら、作品を完成に向けて制作することができる。	【デザイン】 ・美術への意気込みを手型で表現する。	・オリエンテーション&手型制作
	10	(知及技) 人体を構成する様々な要素を理解することができる。 (思判表力) 人体の骨格、関節、筋肉を意識しながら、人体を制作することができる。 (学・人) 粘土をとったり、つけたたいと試行錯誤する事ができる。	(知・技) 人体を構成する様々な要素を理解することができる。 (思・判・表) 人体の骨格、関節、筋肉を意識しながら、人体を制作することができる。 (主学) 粘土をとったり、つけたたいと試行錯誤する事ができる。	【彫刻/鑑賞】 ・粘土と針金を使っての人体彫刻表現	・人体の三要素について知る ・制作するポーズをとり、級友に撮影してもらい、アプリを使って、関節の位置を確認し、アイデアスケッチをし、彫刻について構想を練る。 ・関節、骨格の位置を意識しながら粘土をつけて制作する。 ・自分の作品について発表し、級友の制作した作品を鑑賞することができる。
	6	(知及技) 作家や作品を知ることができる。 (思判表力) 作品等から自分なりに何かを感じる事ができる。 (学・人) 自他の感じたことを共有することができる。	(知・技) 作家や作品を知ることができる。 (思・判・表) 作品等から自分なりに何かを感じる事ができている。 (主学) 自他の感じたことを共有することができる。	【鑑賞】 ・びじゅチューン	・NHK の動画「びじゅチューン」を活用して、作家や作品を知る ・ワークシート ・発表
	4	(知及技) クラフトカッターナイフの使い方を理解し、意図に合った彫り方をすることができる。 (思判表力) 自分の好きなものなどから発想し、デザインすることができる。 (学・人) 積極的に試すことができる。	(知・技) クラフトカッターナイフの使い方を理解し、意図に合った彫り方をすることができる。 (思・判・表) 自分の好きなものなどから発想し、デザインできている。 (主学) 試行錯誤することができる。	【デザイン/彫刻】 ・自分のマークを作る	・年間通して使用する自分マーク(サイン)のデザイン ・消しゴムで印鑑づくり

2 学期	14	(知及技) 世界中の仮面に触れ、多種多様な形があることを知ることができる。 (思判表力) 身近にある不思議を掘り起こし、その不思議から仮面を考え、仮面にあった色・パーツを選び、制作することができる。(学・人) 自分の仮面や他者の仮面に興味を持つ事ができる。	(知・技) 世界中の仮面に触れ、多種多様な形があることを知ることができる。 (思・判・表) 身近にある不思議を掘り起こし、その不思議から仮面を考え、仮面にあった色・パーツを選び、制作することができる。(主学) 自分の仮面や他者の仮面に興味を持つ事ができている。	【彫刻/鑑賞】 ・妖怪になってみよう	・世界中にある仮面を鑑賞し、多種多様な形があることを知り、身近にある不思議からヒントを得て、自分なりの妖怪を仮面という形で制作することができる。
	8	(知及技) 文字の種類や形から受けるイメージの違いを理解することができる。(思判表力) 校内にある文字を探し出し、文字の形の面白さに気づき、ワークシートにまとめることができる。 (学・人) 日頃、何気なく使っている文字に興味を持つことができる。	(知・技) 文字の種類や形から受けるイメージの違いを理解することができる。(思・判・表) 校内にある文字を探し出し、文字の形の面白さに気づき、ワークシートにまとめることができる。 (主学) 日頃、何気なく使っている文字に興味を持つことができる。	【デザイン/鑑賞】 ・タイポグラフィー	・文字の形の面白さに気づく ・作成した文字で作品を制作する。
	12	(知及技) 陶土の特性を理解し、それに沿った扱いができる。 (思判表力) 表現方法によって、土の表情が変化することを理解し、様々な道具、方法を使う事が出来る。 (学・人) 積極的に試すことができる。	(知・技) 陶土の特性を理解し、それに沿った扱いをし、制作することができる。 (思・判・表) 表現方法によって、土の表情が変化することを理解し、様々な道具、方法を使う事が出来る。 (主学) 積極的に試すことができる。	【陶芸/鑑賞】 ・陶板づくり	・陶板の鑑賞 ・アイディアスケッチ ・粘土で成形及び施釉 ・焼成 ・鑑賞
3 学期	10	(知及技) 2025年のやりたいことや夢の写真、画像を探しだし、ソフトを使って編集することができる。 (思判表力) 自分が何をなしとげたいのか、どんな夢を持っているのかをマインドマップを利用し、キーワードを挙げることができる。 (学・人) ソフトの扱い方について、質問することができる。	(知・技) 2025年のやりたいことや夢の写真、画像を探しだし、ソフトを使って編集することができる。 (思・判・表) 自分が何をなしとげたいのか、どんな夢を持っているのかをマインドマップを利用し、キーワードを挙げることができる。 (主学) ソフトの扱い方について、質問することができる。	【デザイン/鑑賞】 ・ビジョンボード	・2025年の目標をソフトを使い、可視化する。
	4	(知及技) 素材や道具の特生を理解することができる。 (思判表力) 絵具の薄いところ、濃いところを認識し、手の力のいれ具合を調節しながら、色の塗り残しなく、塗ることができる。 (学・人) 積	(知・技) 素材や道具の特生を理解することができる。 (思・判・表) 絵具の薄いところ、濃いところを認識し、手の力のいれ具合を調節しながら、色の塗り残しなく、塗ることができる。 (主学)	【絵画/デザイン/鑑賞】 ・ダンボール DE あそぼう	・身近な素材である「ダンボール」を使って、平面と立体のあわいような作品作りをする。

	極的に試すことができる。	試行錯誤することができている。		
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・B鑑賞については、表現と鑑賞を一体化として行う。活動内容には記載しないが、授業ごとの例示や生徒同士の鑑賞活動などを行う。 ・授業内での調べ学習、メディア表現ではタブレットなどのデジタル端末を活用する。 			

令和8年度 高等部1～3学年（Ⅱ課程A）体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
3/105	1～3 学年	兼本・西川・武内	視聴覚教材		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解することができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断することができる。 (学・人) 見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を身につけている。 (思・判・表) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。	・体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動	・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動の中から、一つのねらいを取り上げ、それを高めるための運動を効率よく組み合わせて行う。 ・5分間走、 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わいその特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能が身についている (思・判・表) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。	しぼとり鬼ごっこ ボール運び鬼 フラッグフットボール	ボール運び鬼 ・空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりする。 ・少人数で連携し相手をかかわしたりする。 ・逃げる相手を追いかけて、タグを取ったりする。 フラッグフットボール ボール操作 ・マークされていない味方にパスを出すこと。 ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すこと。 ボールを持たないときの動き ・パスを受ける為にゴール前の空いている場所に動くこと

		<p>(知及技)水泳の楽しさや喜びを深く味わいその特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えること。</p> <p>(学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技)水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能が身につけている</p> <p>(思・判・表)課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。</p> <p>(主学)きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。</p>	<p>・水泳</p>	<p>・手と足の動き呼吸のバランスを取る</p> <p>・浮く・進む→歩行、プル、キック</p> <p>・呼吸(顔つけ)</p> <p>クロール(速く泳ぐ)</p> <p>・一定のリズムで力強いキックができる。</p> <p>・腕全体で水をキャッチしS字やI字を描くようにみずをかくことができる</p> <p>平泳ぎ(長く泳ぐ)</p> <p>・長く伸びるキックができる。</p> <p>・偏り前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。</p> <p>背泳ぎ・バタフライ</p> <p>バランスをとり泳ぐこと。</p>
1・2学期	15	<p>(知及技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方がわかり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開すること。</p> <p>(思判表力)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。</p> <p>(学・人)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したりし、最後まで楽しく運動をすること。</p>	<p>(知・技)技の名称を覚え、立ち方、受け、突き、蹴りを等の技のポイントをおさえて技を出すことができる。</p> <p>(思・判・表)掲示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に仲間の課題や出来映えを伝えることができる。</p> <p>(主学)きまりを守り、健康・安全に留意して学習に取り組むことができる。</p>	<p>・空手</p>	<p>・基本的な立ち方、受け方、突き方蹴りを学習し普及型Iを覚え披露する。</p>
2学期	10	<p>(知及技)リズムに乗って、自分なりの表現や動きをすることができる。</p> <p>(思判表力)仲間と交流しながら踊ることの楽しさを感じられる。</p> <p>(学・人)授業の決まりや種目のルールを守り活動ができる</p>	<p>(知・技)自由に身体を動かしながらテンポや曲調の違いを知り、曲に合わせて踊りをしていく。</p> <p>(思・判・表)積極的に踊ったり、友だちと創意工夫している。</p> <p>(主学)友達の活動の補助を行い、場の安全に留意している。</p>	<p>・ダンス</p>	<p>・身近な曲に乗って身体を動かす。</p> <p>・見たことや経験したことのある動きやジェスチャーを真似してゲーム化する。</p> <p>・表現、創作ダンス、リズムダンス、伝統的な踊り(エイサー)</p> <p>・発表会</p> <p>ICT機器の活用。</p>
2学期	20	<p>(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主</p>	<p>(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>(主学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全</p>	<p>・陸上競技(短距離)</p>	<p>・短距離走クラウチングスタートの行い方、自分に合ったピッチとストライドを探そう。</p> <p>・滑らかな動きで速く走ることができる。</p> <p>・カミのないフォームで走ることができる。</p> <p>・リレー</p> <p>バトンの受け渡してタイミングを合わせるができる。</p> <p>・長距離走</p> <p>自分の体力や技能にあったペースを維持して走ろう</p>

		的に運動をすること。	を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。		
3 学 期	14	(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけることができる。 (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすること。	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけている。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	・陸上競技(長距離)	長距離走(1~2 km) 時間走(10分)
	16	(知及技)球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技)球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	・球技	・サッカー ・パスを受けるため。ゴール前の空いている場所に動くことができる。 ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる (ボール操作と攻撃や守備の際に空間に走り込むなどの動きを身に付け、ゲームを行うこと。) ・風船バレーボール ・ソフトバレーボール ・相手型のコートや開いた場所にボールを打ち返すこと。 ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと
留意点	授業内での調べ学習、メディア表現、録画では ICT 機器を活用する。				
引継ぎ等	授業の前後の担任・担当からの体調面等を引継ぎ者で確認を行い健康観察をする。				

令和8年度 高等部1～3学年 II課程A 職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
1/35	1～3学年		武内・大濱・ 浅井		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより健康に過ごすための習慣を身につける。 (思判表力)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより快・不快を表現する。 (学・人)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより笑顔を増やす。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にすることができる。 (思判表力)自分自身や身の回りのことに興味を持つことができる。 (学・人)教師と一緒に安全に活動することができる。	(知・技)手、目、耳の感覚を活用した活動を行っている。 (思・判・表)手を自ら伸ばし、作業を見て行っている。快・不快を表現している。 (主学)作業を見て行っている。笑顔を見せている。	A職業生活 作業	室内外の作業・活動
		(知及技)表情で体調を伝えることができる。体操を教師と一緒にすることができる。 (思判表力)身の回りの人との関わりに関心を持つこと。快・不快を表現する。 (学・人)笑顔を見せる。	(知・技)体操を教師と一緒にしている。 (思・判・表)呼びかけに顔をあげ反応する。 快・不快を表現している。 (主学)笑顔を見せている。	A職業生活 健康管理 人との関わり 余暇活動 基本的な生活習慣 体操	適切な休憩時間の過ごし方及び 体調管理 ふれあい体操やストレッチ体操
		(知及技)iPadに触れ操作する。(思判表力)実習での様子を映像で発表することができる。(学・人)画面を注視することができる。笑顔を見せる。	(知・技)iPadで動画を見てiPadになれる。 (思・判・表)教師と一緒に発表を行っている。 (主学)画面を見て触れている。笑顔を見せている。	B情報機器の活用 就業体験振り返り 余暇活動	iPadの利用 音楽や動画を楽しむ活動
		(知及技)実習に関する学習を意欲的に行う。 (思判表力)実習での様子を映像で発表することができる。(学・人)写真や動画で実習を振り返ることができる。	(知・技)実習に関する活動を意欲的に行っている。 (思・判・表)快・不快を表現している。 (主学)笑顔を見せている。	C産業現場等における実習	就業体験実習及び事前事後学習 販売学習にむけての事前事後学習及び 販売学習
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部1・2学年 II課程A 家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
2/70	1学年(11名) 2学年(6名)		登川 伶		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。(2段階) (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題解決する力を養う。(2段階) (学・人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(2段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	(知及技)自分の成長と家族や家庭生活、地域の人々との関わりに関する学習活動を通して、協力し合うことの大切さに気づくことができる。	(知・技)自分の成長と家族や家庭生活、地域の人々との関わりに関する学習活動を通して、協力し合うことの大切さに気づいている。	・自分の成長 ・家族、家庭生活 (A:家族・家庭生活)	・自分を知らう ・家族と自分 ・家族と防災 ・家族へのプレゼントづくり
	12	(思判表力)家族や地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。 (学・人)よりよい生活の実現に向け、学習活動を通して、主体的に学習に取り組むことができる。	(思・判・表)家族や地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫している。 (主学)よりよい生活の実現に向け、学習活動を通して、主体的に学習に取り組んでいる。	・保育 ・福祉 (A:家族・家庭生活)	・幼い頃を振り返る ・命の大切さ ・成長について ・高齢者との関わり ・共生社会について ・地域での防災
2 学期	30	(知及技) ・食生活に関する学習を通して、栄養に関する理解を深め、簡単な調理に取り組むことができる。 ・衣生活に関する学習を通して、衣服の管理や状況に応じた衣服の選択、安全を意識した縫製作業に取り組むことができる。	(知・技) ・食生活に関する学習を通して、栄養に関する理解を深め、簡単な調理に取り組んでいる。 ・衣生活に関する学習を通して、衣服の管理や状況に応じた衣服の選択、安全を意識した縫製作業に取り組んでいる。	・食生活分野 (B:衣食住の生活)	・栄養について <small>(栄養のうた、給食について等)</small> ・地域の食生活 ・防災食
		(思判表力)衣生活及び食生活に関する学習や実習を通して、生活の中の課題を見つけ、解決に向け考え、自ら選択し行動することができる。 (学・人)よりよい生活の実現に向け、学習活動を通して、主体的に学習に取り組むことができる。	(思・判・表)衣生活及び食生活に関する学習や実習を通して、生活の中の課題を見つけ、解決に向け考え、自ら選択し行動している。 (主学)よりよい生活の実現に向け、学習活動を通して、主体的に学習に取り組んでいる。	・衣生活分野 (B:衣食住の生活)	・衣服の選択 ・衣服の管理 ・小物製作 ・防災グッズづくり
3 学期	14	(知及技)消費生活に関わる学習活動を通して、購入や支払いの仕組みや私たちの生活が環境に与える影響などについて理解を深め、計画的な消費行動を取ることができる。 (思判表力)自らの消費行動を振り返り、よりよい生活に必要な課題を見つけ、解決策を他者と協働的に考え、工夫することができる。 (学・人)よりよい生活の実現に向け、学習活動を通して、主体的に学習に取り組むことができる。	(知・技)・TPOに応じた被服の役割があることを知り、教師と一緒に学ぼうとしている。 (思・判・表)・衣服の種類に応じた洗濯について教師と一緒に取り組みながら表現しようとしている。 (主学)・自分の体に合った既製服のサイズや衣服の保管の仕方を教師と一緒に学ぼうとしている。	・消費生活 ・環境 (C:消費生活、環境) ・住生活 (B:衣食住の生活) ・学習のまとめ	・お金について ・買い物学習 ・環境を整える、考える ・安心・安全な住まい ・1年の振り返り
留意点 引継ぎ等	全学期において、防災に関する学習や調理及び縫製実習を実施する				

単位数 /配当時 数	生徒		担当者	教科書/副教材	
1/35	1~3学年		仲田綾 子		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技) 日常会話の基礎的なフレーズを聞く・話すことを中心として読む・書くことにも慣れ親しむと同時にコミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けることができる。 (思判表力) 日常会話の基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして自分の考えや気持ちを伝え合う基礎的な力を身に付けることができる。 (学・人) 日常会話の基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技) 自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどについて聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) 自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。 (学・人) 他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	自己紹介	I'm from (Shizuoka). I like (soccer). I can (play soccer well). I am good at (running). My birthday is (August 19th). My nickname is (Ken). What [colors / subjects / fruits / sports / animals] do you like? What is your favorite [color / subject / fruit / sport / animal]? When is your birthday?
	3	(知及技) 日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) 日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	日本の文化	Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival). What [food / games] do you have in Japan? We have [soba / fukuwarai]. It's [delicious / fun]. You can enjoy [rakugo / hanami / tempra].

	<p>(知及技)「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>(思判表力) 語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。</p> <p>(学・人) 他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。</p> <p>(主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>人物紹介</p>	<p>I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He/ She] is [famous / great].</p>
4	<p>(知及技) 地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>(思判表力) ・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p> <p>(学・人) 他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。</p> <p>(主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>自分たちの町・地域</p>	<p>We have / don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing / shopping / swimming]. I want a [library / park]. (Sakura) is nice</p>
2 学期 5	<p>(知及技) 夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>(思判表力) 夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</p> <p>(学・人) 他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。</p> <p>(主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>夏休みの思い出</p>	<p>I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream). It was [fun / exciting / beautiful / delicious].</p>

	<p>(知及技) 国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。 (思判表力) オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合う。 (学・人) 他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合おうとする。</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>オリンピック バスケットボール パラリンピック バスケットボール あなた、バスケットボールが好きですか？ 私はバスケットボールが好きです。あなたはバスケットボールが上手ですか？ はい、私はバスケットボールが上手です。 / いいえ、私はバスケットボールが上手ではありません。</p>
	<p>(知及技) 学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) ・学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>学校生活 思い出 思い出 What's your best memory? My best memory is (sports day). We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) / ate (Japanese food) / saw (old temples) / enjoyed (the trip)].</p>
3 学期	<p>(知及技) 将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書いた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>将来の夢 職業 What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.</p>
	<p>(知及技) 学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) 学校行事などについて</p>	<p>(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。</p>	<p>学校生活 バスケットボール I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to</p>

	<p>伝え合ったり、中 学校生活について書かれている英語を推測しながら読みたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、学校生活について伝え合おうとする</p>	<p>(思・判・表)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (主学)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>	<p>enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].</p>
<p>留意点 引継ぎ等</p>			

令和8年度 高等部1～3学年（Ⅱ課程A） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材
1／35	1～3学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標 (知及技)身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人)身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)身近にある情報の基本的な特性及び基本的な用途、操作方法を知り、情報と情報技術を活用することができる。 (思判表力)目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用し問題を解決する方法について考えることができる。 (学・人)身近にある情報や情報技術に関わろうとすることができる。	(知・技)情報の基本的な特性及び基本的な用途、操作方法を知り、情報と情報技術を活用しようとしている。 (思・判・表)身情報や情報技術を活用し問題を解決する方法を考えようとしている。 (主学)近にある情報や情報技術に関わろうとしている。	情報社会の問題解決 地域の問題について考える。 ・iPadやデスクトップPCを活用することで、仕事や生活がよりよくなることを学習し、情報に関する基礎知識を身につける。 ・iPadやデスクトップPCでシームレスな入力を体験する ・情報モラルを身につけiPadやスマートフォンを利用する上で必要なルールやマナーについて考える。
2 学期	14	(知及技)身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について考えることができる。 (思判表力)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係について考えることができる。 (学・人)情報技術を適切に活用しようすることができる。	(知・技)効メディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について考えようとしている。 (思・判・表)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係をかんがえようとしている。 (主学)情報技術を適切に活用しようとしている。	コミュニケーションと情報デザイン 地域の防災について知る。 ・コミュニケーションの形態や手段の変化について考える。 ・情報デザインの工夫iPadやデスクトップPCを利用してわかりやすく伝えるための考え方や方法を身につける。
3 学期	9	(知及技)情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。 (思判表力)情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。 (学・人)情報社会に参画しようすることができる。	(知・技)情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティについて考えようとしている。 (思・判・表)情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えようとしている。 (主学)情報社会に参画しようとしている。	情報通信ネットワークとデータの活用 表計算ソフトウェアの使い方 ・iPadとデスクトップPCの両方で表計算ソフトの基本操作を知る さまざまなグラフ表現 ・数の大小や割合、変化などを目的に応じて、グラフで表現する。
留意点 引継ぎ等		・実生活と教科の学習を関連付けた教材の工夫。		

令和8年度 高等部 II課程 A 道徳 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
1 / 35	1～3学年		各担当	なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)学校の教育活動全体を通し、様々な道徳的価値や規律、社会生活におけるルールについて触れ、基本的な生活習慣や道徳的意義についての理解を深める。 (思判表力)自己のあり方や他者との関わりについて多角的に考え、道徳的な場面における適切な判断、自己の心情や考えを言葉や態度で表現することができる。 (学・人)明るく豊かな道徳的心情、自他の生命や権利を尊重する態度、より良い学校生活や社会の実現に進んで参画しようとする実践意欲を育てる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	13	(知及技)自分自身にとっての道徳のあり方や、集団生活における基本的な礼儀・作法の意義を理解することができる。 (思判表力)校生活で期待していることや、他者への親しみの気持ち・感謝の心情を思い起こし、言葉や発表を通して適切に表現できる。 (学・人)周囲に対して自ら挨拶を交わし、他者と良好な関係を築こうと主体的に活動に取り組むことができる。	(知・技)自身にとっての道徳のあり方について触れ、理解しようとするができる。 (思・判・表)他者への親しみの気持ちを伝えることができる。学校生活で期待していることを思い起こし、発表することができる。日常生活の中で感謝の気持ちを表現できる。 (主学)他者への親しみの気持ちを伝えようとしている。学校生活で期待していることを思い起こし、発表している。日常生活の中で感謝の気持ちを表現しようとしている。	A オリエンテーション・基本の礼儀(挨拶・マナー・学校生活)	・オリエンテーション：道徳の授業の進め方や、自分にとっての道徳のあり方について考える。 ・挨拶と礼儀作法：場面に応じた適切な挨拶の仕方、他者への親しみの気持ちを伝えるマナーの実践。 ・学校生活の振り返り：新学期や日々の生活で期待していること、頑張りたいことを思い起こして発表する。 ・感謝の表現：日常生活の中で家族や友人、教職員に対して感謝の気持ちを言葉や態度で表現する活動。
	15	(知及技)社会や学校生活における規律(決まり)の必要性を理解し、自身の健康や安全を守るための正しい行動習慣を身に付けることができる。 (思判表力)他者と協調することの重要性や、与えられた役割を果たす意味を考え、状況に応じた適切な行動を判断できる。 (学・人)共有する場所や物を大切に扱い、自分の健康管理や係活動などの役割に責任を持って主体的に取り組むことができる。	(知・技)決まりの必要性を理解し、共有する場所や物を大切に扱う。自分の健康に気をつけ、健康安全・他者関係・役割を全うして活動することができる。 (思・判・表)他者と協調することについて考える。必要な役割や与えられた課題の遂行に向けて見通しを持つことができる。 (主学)決まりを守り、共有の物や場所を大切に扱おうとしている。自分の健康に関心を持ち、自己管理を行おうとしている。・他者と協力し、自らの役割を最後までやり遂げようとしている。	B 社会生活の規律と自己管理(決まり・健康・健康安全・他者関係・役割遂行)	・決まりとマナー：公共のルールや学校の決まりの必要性について理解を深め、共有スペースや物品を大切に使う態度を養う。 ・健康と安全：自らの心身の健康に関心を持ち、安全で健康的な生活習慣について考える。 ・他者との関係：他者と協調し、お互いを尊重し合う関係性について考えるグループワーク。 ・業務や課題の遂行：学級や学校内での必要な役割(係活動等)や与えられた課題に対し、見通しを持って最後までやり遂げる実践。
	7	(知及技)伝統文化や郷土の良さ、国際社会の多様性に触れ、それぞれの文化的背景や道徳的価値観を理解できる。 (思判表力)地域や世界の文化と自分たちの生活との結びつきを捉え、多様な生き方や価値観を尊重するための考えを表現できる。 (学・人)地域社会のイベントや国際的な話題に関心を持ち、自ら進んで多様な文化を受け入れ、尊重しようとする態度を養う。	【知識・技能】伝統文化や郷土の良さ、国際社会の多様なあり方について触れ、知ることができる。 (思・判・表)自分たちの文化と他者の文化の共通点や相違点を見つけ、尊重する大切さについて考えることができる。 (主学)伝統文化や地域の行事、国際的な文化交流に関心を持ち、積極的に関わろうとしている。	C 文化の尊重と国際理解(伝統文化・郷土・国際社会・多様性)	・伝統文化と郷土の理解：地域に伝わる伝統、文化、行事の良さに触れ、郷土を愛する心を育む。 ・国際理解と多面的価値：世界には様々な文化や生活習慣があることを知り、多様性を認め合う態度を養う。 ・まとめの活動：文化の尊重や多様な生き方について、自分の考えをワークシートにまとめたり、意見交換を行ったりする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部1～3学年 II課程A 職業実習（園芸） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
6／210		1～3学年	大濱・与世山	なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)社会参加に向けて職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能(農具や機械の安全で正しい扱い方、作物と花卉栽培の工程など)を身に付ける。 (思判表力)実習や製品販売、職場見学を通して、自己の目標を設定し、振り返り、課題や感想などを文章や言葉で表現することができる。 (学・人)働くことの意義を理解し、お互いに協力して安全に作業を進める態度、勤労を重んじる態度、働く喜びや収穫の喜び、販売による達成感を感じることができる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	150	(知及技)日常の作業学習において、農具や機械の安全かつ正しい使用方法を身に付け、基礎的な作物と花卉の知識を学び栽培を行うことができる。 (思判表力)作物や花卉の特性に応じた手順を考え、工夫して栽培実習に取り組むことができる。 (学・人)周囲と協力しながら作業分担を守り、粘り強く丁寧且つ主体的に栽培実習に取り組むことができる。	(知・技)農具、機械等の正しい扱い方を身に付け、安全に作業ができる。栽培に必要な基礎的知識と技能を身に付けることができる。 (思・判・表)作業工程や手順を理解し、見通しを持って進めることができる。自己の課題に気づき、工夫して改善することができる。 (主学)意欲的に作業に取り組み、丁寧に仕上げるができる。報告・連絡・相談を適切に行い、協力して活動できる。	A 職業実習 (働く態度・心得の確認、各農具・機械の使用方法、各作業工程の学習)	・オリエンテーション：年間の活動内容、園芸班のルールの確認、作業場所の整理整頓。安全管理：移植ごて、剪定バサミ、ヘラ、鎌等の安全な扱い方、危険予測。 農園芸の基本：土づくり、播種、移植、定植、誘引、施肥、間引き、追肥、中耕、除草、整枝、収穫までの一連の工程実践。 ・全実習：集団での役割分担、協働作業の推進。 ・各作業工程：個々の興味・関心、技能に応じて、手順を工夫して取り組む。 ・農具の手入れ：使用後の刃物洗い、メンテナンス、作業台の清掃と適切な保管。
	35	(知及技)作業日誌やワークシート等の記録ツールを用いて、自己の作業記録や課題を正確に記述・保存することができる。 (思判表力)記録したデータをもとに、次の作業への改善点をみつけたり、自己の成長度合いを客観的に評価・表現したりできる。 (学・人)毎回の振り返り活動を重視し、自ら進んで課題解決のための目標設定を行うことができる。	(知・技)ワークシート等を用いて、自己の作業内容や時間、進捗を正しく記録できる。 (思・判・表)自己の目標設定や振り返り、活動の感想を文章や言葉で適切に表現できる。 (主学)毎時間の作業後に自己評価を行い、次の活動への意欲を高めることができる。	A 情報機器の活用 (振り返り・ワークシート・成果発表)	・作業日誌、振り返りシートの継続的な記入：活動ごとの自己評価、できたこと、改善が必要な点の言語化。 ・1年間のまとめと成果発表：制作した作品の紹介、頑張った点や成長した内容についての発表会およびスライド・ポスター形式でのまとめ、他者評価の共有。
	15	(知及技)生産物の選別、調整、価格設定、接客挨拶、金銭授受など、接客・販売に関わる基本的なマナーと手順を身に付ける。 (思判表力)お客様のニーズや状況に応じた適切な言葉遣いや態度を判断し、気持ちの良い対応ができる。 (学・人)販売活動を通じて地域住民や購入者と積極的に関わ	(知・技)生産物の価値に応じた適切な扱い方、価格設定ができる。接客時の基本的な挨拶、マナー、言葉遣い、金銭授受の手順を身に付ける。 (思・判・表)状況に応じた臨機応変な接客対応や声掛けができる。 (主学)販売活動に責任感を持って参加し、笑顔で丁寧に対応できる。	C 産業現場等における実習(校内・校外生産物販売学習)	・生産物の選別・調整・袋詰め：販売可能な品質であるかのチェック、価格ラベル貼り。 ・陳列、会場設営：お客様が見やすいような配置・装飾の工夫。 ・販売学習(校内・地域イベント等)：実際の接客、生産物の特長説明、お釣りの受け渡し、感謝の表現。 ・販売後の振り返り：売上状況の確認、お客様からの意見の共有、次回に向けた改善点の協議。

	り、働くことの喜びや意義を実感して次への活力につなげることができる。			
10	(知及技)実際の産業現場(地域の農家の稼働状況や、プロの作業態度・工程を直接観察し、その仕組みや広がりを理解できる。 10 (思判表力)学校での作業学習と実際の現場での仕事の共通点や相違点を捉え、今後の自身の作業への取り組み方に活かすことができる。 (学・人)見学を通じて働くことへの関心を高め、将来の進路や職業生活への具体的なイメージを持つことができる。	(知・技)地域の産業や農園芸産業に関する実際の現場の仕組みについて理解を深める。 (思・判・表)学校の学習と社会の仕事をつなげ、自分の課題や将来について考えることができる。 (主学)マナーを守って意欲的に見学し、進んで質問やメモをとることができる。	C 産業現場等における実習(外部連携・農家、農園等見学)	・事前の見学計画・調べ学習:見学先の概要、質問したい内容の整理、公の場でマナーの確認。 ・現場見学の実施:プロの技、生産ライン、使用されている機械や施設の視察、働く姿の観察。 ・事後のまとめ学習:見学で学んだことのレポート作成、感想の共有、学校の作業に還元できる点の確認。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部1～3学年 II課程A 職業実習（家庭） 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材		
6/210	1～3学年	登川	なし		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)社会参加に向けて職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能(道具や機械の安全で正しい扱い方、木工加工の工程など)を身に付ける。 (思判表力)実習や製品販売、職場見学を通して、自己の目標を設定し、振り返り、課題や感想などを文章や言葉で表現することができる。 (学・人)働くことの意義を理解し、お互いに協力して安全に作業を進める態度、勤労を重んじる態度、働く喜びや完成の喜びを感じる事ができる					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	150	(知及技)日常の職業実習において、調理器具やミシンなどを安全かつ正しい操作方法を身に付け、正確に扱うことができる。 (思判表力)小物や菓子製品の手順を考え、工夫して製作に取り組むことができる。 (学・人)周囲と協力しながら作業分担を守り、粘り強く丁寧な製品作りに主体的に取り組むことができる。	(知・技)調理器具やミシン等の正しい扱い方を身に付け、安全に作業ができる。加工に必要な基礎的技術を身に付け、正確に加工できる。 (思・判・表)作業工程や手順を理解し、見通しを持って進められる。自己の課題に気づき、工夫して改善することができる。 (主学)意欲的に作業に取り組み、丁寧な製品作りを目指す。報告・連絡・相談を適切に行い、協力して活動できる。	A 職業実習 (働く態度・心得の確認・手縫いの基礎)	・オリエンテーション ・職業実習(家庭)を学ぶにあたって働く態度(心得の確認) ・手縫いの基礎 ①並縫い ②返し縫い ③ボタン付け ④まつり縫い ⑤刺しゅう ・ミシンの基礎 ①直線縫い ②曲線縫い ③返し縫い ・販売用小物づくり 縫製作業(バッグやコースターなど) ① しつけ縫い ② ミシン縫い ③ アイロンがけ ・菓子製造(クッキーやマフィンなど) 衛生指導 調理 販売 ・1学期の反省と評価 (掃除、校外学習を含む)
	35	(知及技)作業日誌やワークシート等の記録ツールを用いて、自己の作業記録や課題を正確に記述・保存することができる。 (思判表力)記録したデータをもとに、次の作業への改善点をみつけたり、自己の成長度合いを客観的に評価・表現したりできる。 (学・人)毎回の振り返り活動を重視し、自ら進んで課題解決のための目標設定を行うことができる。	(知・技)ワークシート等を用いて、自己の作業内容や時間、進捗を正しく記録できる。 (思・判・表)自己の目標設定や振り返り、活動の感想を文章や言葉で適切に表現できる。 (主学)毎時間の作業後に自己評価を行い、次の活動への意欲を高めることができる。	A 情報機器の活用 (振り返り・ワークシート・成果発表)	・作業日誌、振り返りシートの継続的な記入：活動ごとの自己評価、できたこと、改善が必要な点の言語化。 ・1年間のまとめと成果発表：制作した作品の紹介、頑張った点や成長した内容についての発表会およびスライド・ポスター形式でのまとめ、他者評価の共有。
	15	(知及技)製品の仕分け、検品、価格設定、接客挨拶、金銭授受など、接客・販売に関わる基本的なマナーと手順を身に付ける。 (思判表力)お客様のニーズや状況に応じた適切な言葉遣いや態度を判断し、気持ちの良い対応ができる。 (学・人)販売活動を通じて地域住民や購入者と積極的に関わ	(知・技)製品の価値に応じた適切な製品管理、仕分けができる。接客時の基本的な挨拶、マナー、言葉遣い、金銭授受の手順を身に付ける。 (思・判・表)状況に応じた臨機応変な接客対応や声掛けができる。 (主学)販売活動に責任感を持って参加し、笑顔で丁寧に対応できる。	C 産業現場等における実習(校内・校外製品販売学習)	・製品の検品・仕上げ・梱包：販売可能な品質であるかのチェック、価格ラベル貼り。 ・陳列、会場設営：お客様が見やすいような配置・装飾の工夫。 ・販売学習(校内・地域イベント等)：実際の接客、製品の特長説明、お釣りの受け渡し、感謝の表現。 ・販売後の振り返り：売上状況の確認、お客様からの意見の共有、次回に向けた改善点の協議。

	り、働くことの喜びや意義を実感して次への活力につなげることができる。			
10	(知及技)実際の産業現場(みんさー工芸館)の稼働状況や、プロの職人の作業態度・工程を直接観察し、その仕組みや広がりを理解できる。 (思判表力)学校での作業学習と実際の現場での仕事の共通点や相違点を捉え、今後の自身の作業への取り組み方に活かすことができる。 (学・人)見学を通じて働くことへの関心を高め、将来の進路や職業生活への具体的なイメージを持つことができる。	(知・技)地域の伝統工芸に関する実際の現場の仕組みについて理解を深める。 (思・判・表)学校の学習と社会の仕事と結びつけ、自分の課題や将来について考えることができる。 (主学)マナーを守って意欲的に見学し、進んで質問やメモをとることができる。	C 産業現場等における実習(外部連携・みんさー工芸館見学)	・事前の見学計画・調べ学習:見学先の概要、質問したい内容の整理、公の場でのマナーの確認。 ・みんさー工芸館等見学の実施:職人の技、生産ライン、使用されている専門大型機械の視察、働く姿の観察。 ・事後のまとめ学習:見学で学んだことのレポート作成、感想の共有、学校の作業に還元できる点の確認。
留意点 引継ぎ等	通年で、調理や縫製の実習を実施する予定。			

令和8年度 高等部1～3学年 II課程A 職業実習（陶芸） 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
6/210	1～3学年		宮里/大城	なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)社会参加に向けて職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能(陶芸用具や機械の安全で正しい扱い方、陶芸制作の工程など)を身に付ける。 (思判表力)実習や製品販売を通して、自己の目標を設定し、振り返り、課題や感想などを文章や言葉で表現することができる。 (学・人)働くことの意義を理解し、お互いに協力して安全に作業を進める態度、勤労を重んじる態度、作品完成の喜びや達成感を感じることができる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	150	(知及技) 日常の作業学習において、陶芸用具や機械、窯等の安全かつ正しい操作方法を身に付け、基礎的な陶芸制作を行うことができる。 (思判表力) 土の性質や作品の用途・デザインに応じた制作手順を考え、工夫して作品制作に取り組むことができる。 (学・人) 意欲的に作業に取り組み、丁寧な製品作りを目指す。報告・連絡・相談を適切に行い、協力して活動できる。	(知・技) 陶芸用具、機械、窯等の正しい扱い方を身に付け、安全に作業することができる。成形、削り、施釉、焼成など陶芸制作に必要な基礎的技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 作業工程や手順を理解し、見通しを持って進めることができる。自己の課題に気づき、工夫して改善することができる。 (主学) 意欲的に作業に取り組み、丁寧な作品制作を目指すことができる。報告・連絡・相談を適切に行い、協力して活動できる。	A 職業実習 (成形・施釉・窯業務・オリジナル制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：年間の活動内容、班のルールの確認、作業場所の整理整頓。 ・安全管理：窯、電動ろくろ、土練機等の安全な扱い方、保護具の着用徹底、危険予測。 ・陶芸制作の基本：土練り、玉づくり、ひもづくり、たたらづくり、削り、施釉、焼成までの一連の工程実践。 ・皿、茶碗、カップ等の日用品制作：用途や使いやすさを考えた形づくりや装飾の工夫。 ・集団制作：大型作品や共同制作における役割分担、協働作業の推進。 ・オリジナル作品の制作：個々の興味・関心、技能に応じた自由なアイデアでの作品の企画・制作。 ・用具の手入れ：使用後の道具や作業台の清掃、釉薬管理、窯周辺の安全確認と適切な整理整頓。
	35	(知及技) 作業日誌やワークシート等の記録ツールを用いて、自己の制作記録や課題を正確に記述・保存することができる。 (思判表力) 記録したデータをもとに、次の作業への改善点をめつけたり、自己の成長度合いを客観的に評価・表現したりできる。	(知・技) ワークシート等を用いて、自己の作業内容や時間、進捗を正しく記録できる。 (思・判・表) 自己の目標設定や振り返り、活動の感想を文章や言葉で適切に表現できる。 (主学) 毎時間の作業後に自己評価を行い、次の活動への意欲を高めることができる。	A 情報機器の活用 (振り返り・ワークシート・成果発表)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業日誌、振り返りシートの継続的な記入：活動ごとの自己評価、できたこと、改善が必要な点の言語化。 ・1年間のまとめと成果発表：制作した作品の紹介、頑張った点や成長した内容についての発表会およびスライド・ポスター形式でのまとめ、他者評価の共有。

	(学・人)毎回の振り返り活動を重視し、自ら進んで課題解決のための目標設定を行うことができる。			
15	(知及技)作品の仕分け、検品、価格設定、接客挨拶、金銭授受など、接客・販売に関わる基本的なマナーと手順を身に付ける。 (思判表力)購入者のニーズや状況に応じた適切な言葉遣いや態度を判断し、気持ちの良い対応ができる。 (学・人)販売活動を通じて地域住民や購入者と積極的に関わり、働くことの喜びや意義を実感して次への活力につなげることができる。	(知・技)作品の価値に応じた適切な作品管理、仕分けができる。接客時の基本的な挨拶、マナー、言葉遣い、金銭授受の手順を身に付ける。 (思・判・表)状況に応じた臨機応変な接客対応や声掛けができる。 (主学)販売活動に責任感を持って参加し、笑顔で丁寧に対応できる。	C 産業現場等における実習(校内・校外製品販売学習)	・作品の検品・仕上げ・梱包：販売可能な品質であるかのチェック、価格ラベル貼り。 ・陳列、会場設営：購入者が見やすいような配置・装飾の工夫。 ・販売学習(校内・地域イベント等)：実際の接客、製品の特長説明、お釣りの受け渡し、感謝の表現。 ・販売後の振り返り：売上状況の確認、購入者からの意見の共有、次回に向けた改善点の協議。
10	(知及技)実際の産業現場(地域の陶芸工房等)の稼働状況や、職人の作業態度・工程を直接観察し、その仕組みや広がりを理解できる。 (思判表力)学校での作業学習と実際の陶芸工房での仕事の共通点や相違点を捉え、今後の自身の制作活動への取り組み方に活かすことができる。 (学・人)見学を通じて働くことへの関心を高め、将来の進路や職業生活への具体的なイメージを持つことができる。	(知・技)地域の産業や陶芸に関する実際の現場の仕組みについて理解を深める。 (思・判・表)学校の学習と社会の仕事を結びつけ、自分の課題や将来について考えることができる。 (主学)マナーを守って意欲的に見学し、進んで質問やメモをとることができる。	C 産業現場等における実習(外部連携・陶芸工房見学)	・事前の見学計画・調べ学習：見学先の概要、質問したい内容の整理、公の場でのマナーの確認。 ・陶芸工房見学の実施：職人の技、生産ライン、使用されている専門的な道具の視察、働く姿の観察。 ・事後のまとめ学習：見学で学んだことのレポート作成、感想の共有、学校の作業に還元できる点の確認。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部1～3学年 II課程A 職業実習（陶芸） 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
6/210	1～3学年		宮里/大城	なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)社会参加に向けて職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能(陶芸用具や機械の安全で正しい扱い方、陶芸制作の工程など)を身に付ける。 (思判表力)実習や製品販売を通して、自己の目標を設定し、振り返り、課題や感想などを文章や言葉で表現することができる。 (学・人)働くことの意義を理解し、お互いに協力して安全に作業を進める態度、勤労を重んじる態度、作品完成の喜びや達成感を感じることができる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	150	(知及技) 日常の作業学習において、陶芸用具や機械、窯等の安全かつ正しい操作方法を身に付け、基礎的な陶芸制作を行うことができる。 (思判表力) 土の性質や作品の用途・デザインに応じた制作手順を考え、工夫して作品制作に取り組むことができる。 (学・人) 意欲的に作業に取り組み、丁寧な製品作りを目指す。報告・連絡・相談を適切に行い、協力して活動できる。	(知・技) 陶芸用具、機械、窯等の正しい扱い方を身に付け、安全に作業することができる。成形、削り、施釉、焼成など陶芸制作に必要な基礎的技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 作業工程や手順を理解し、見通しを持って進めることができる。自己の課題に気づき、工夫して改善することができる。 (主学) 意欲的に作業に取り組み、丁寧な作品制作を目指すことができる。報告・連絡・相談を適切に行い、協力して活動できる。	A 職業実習 (成形・施釉・窯業務・オリジナル制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：年間の活動内容、班のルールの確認、作業場所の整理整頓。 ・安全管理：窯、電動ろくろ、土練機等の安全な扱い方、保護具の着用徹底、危険予測。 ・陶芸制作の基本：土練り、玉づくり、ひもづくり、たたらづくり、削り、施釉、焼成までの一連の工程実践。 ・皿、茶碗、カップ等の日用品制作：用途や使いやすさを考えた形づくりや装飾の工夫。 ・集団制作：大型作品や共同制作における役割分担、協働作業の推進。 ・オリジナル作品の制作：個々の興味・関心、技能に応じた自由なアイデアでの作品の企画・制作。 ・用具の手入れ：使用後の道具や作業台の清掃、釉薬管理、窯周辺の安全確認と適切な整理整頓。
	35	(知及技) 作業日誌やワークシート等の記録ツールを用いて、自己の制作記録や課題を正確に記述・保存することができる。 (思判表力) 記録したデータをもとに、次の作業への改善点をめつけたり、自己の成長度合いを客観的に評価・表現したりできる。	(知・技) ワークシート等を用いて、自己の作業内容や時間、進捗を正しく記録できる。 (思・判・表) 自己の目標設定や振り返り、活動の感想を文章や言葉で適切に表現できる。 (主学) 毎時間の作業後に自己評価を行い、次の活動への意欲を高めることができる。	A 情報機器の活用 (振り返り・ワークシート・成果発表)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業日誌、振り返りシートの継続的な記入：活動ごとの自己評価、できたこと、改善が必要な点の言語化。 ・1年間のまとめと成果発表：制作した作品の紹介、頑張った点や成長した内容についての発表会およびスライド・ポスター形式でのまとめ、他者評価の共有。

	(学・人)毎回の振り返り活動を重視し、自ら進んで課題解決のための目標設定を行うことができる。			
15	(知及技)作品の仕分け、検品、価格設定、接客挨拶、金銭授受など、接客・販売に関わる基本的なマナーと手順を身に付ける。 (思判表力)購入者のニーズや状況に応じた適切な言葉遣いや態度を判断し、気持ちの良い対応ができる。 (学・人)販売活動を通じて地域住民や購入者と積極的に関わり、働くことの喜びや意義を実感して次への活力につなげることができる。	(知・技)作品の価値に応じた適切な作品管理、仕分けができる。接客時の基本的な挨拶、マナー、言葉遣い、金銭授受の手順を身に付ける。 (思・判・表)状況に応じた臨機応変な接客対応や声掛けができる。 (主学)販売活動に責任感を持って参加し、笑顔で丁寧に対応できる。	C 産業現場等における実習(校内・校外製品販売学習)	・作品の検品・仕上げ・梱包：販売可能な品質であるかのチェック、価格ラベル貼り。 ・陳列、会場設営：購入者が見やすいような配置・装飾の工夫。 ・販売学習(校内・地域イベント等)：実際の接客、製品の特長説明、お釣りの受け渡し、感謝の表現。 ・販売後の振り返り：売上状況の確認、購入者からの意見の共有、次回に向けた改善点の協議。
10	(知及技)実際の産業現場(地域の陶芸工房等)の稼働状況や、職人の作業態度・工程を直接観察し、その仕組みや広がりを理解できる。 (思判表力)学校での作業学習と実際の陶芸工房での仕事の共通点や相違点を捉え、今後の自身の制作活動への取り組み方に活かすことができる。 (学・人)見学を通じて働くことへの関心を高め、将来の進路や職業生活への具体的なイメージを持つことができる。	(知・技)地域の産業や陶芸に関する実際の現場の仕組みについて理解を深める。 (思・判・表)学校の学習と社会の仕事をつなげ、自分の課題や将来について考えることができる。 (主学)マナーを守って意欲的に見学し、進んで質問やメモをとることができる。	C 産業現場等における実習(外部連携・陶芸工房見学)	・事前の見学計画・調べ学習：見学先の概要、質問したい内容の整理、公の場でのマナーの確認。 ・陶芸工房見学の実施：職人の技、生産ライン、使用されている専門的な道具の視察、働く姿の観察。 ・事後のまとめ学習：見学で学んだことのレポート作成、感想の共有、学校の作業に還元できる点の確認。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部3学年 II課程A 職業実習（クリーン）年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
2/70	3学年		伊良皆・大濱	なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)社会参加に向けて職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能(清掃用具、機械の安全で正しい扱い方、環境整備や洗車の工程など)を身に付ける。 (思判表力)実習や地域等での実践を通して、自己の目標を設定し、振り返り、課題や感想などを文章や言葉で表現することができる。 (学・人)働くことの意義を理解し、お互いに協力して安全に作業を進める態度、勤労を重んじる態度、働く喜びや環境を整える喜びを感じることができる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	50	(知及技) 日常の作業学習において、清掃用具や専門の機械(ポリッシャーや高圧洗浄機等)の安全かつ正しい操作方法を身に付け、正確に環境整備や洗車を行うことができる。 (思判表力) 清掃場所の汚れの状況や対象物(車両等)に応じた適切な手順や用具の選択を考え、見通しを持って実習に取り組むことができる。 (学・人) 周囲と協力しながら責任を持って役割を果たし、丁寧かつ効率的な作業に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 清掃用具、機械等の正しい扱い方を身に付け、安全に作業ができる。環境整備、洗車等に必要の基礎的スキルを身に付け、丁寧に作業ができる。 (思・判・表) 清掃や洗車の工程・手順を理解し、見通しを持って進められる。自己の課題や汚れの見落としに気づき、工夫して改善することができる。 (主学) 意欲的に実習に取り組む、美化や品質の向上を目指す。	A 職業生活(校内清掃・環境整備・洗車実習・安全管理)	・オリエンテーション：年間の活動内容、班のルールの確認、作業場所の整理整頓、清掃用具に触れる。 ・安全管理：専門機械の安全な触れ方、保護具の着用徹底、危険予測、作業姿勢の意識。 ・校内清掃・環境整備(24時間)：自在ほうきやダスタークロスの使用、自在ほうきの自在な扱い、モップ掛け、窓拭き、床面のワックス掛け、各種用具の正しい操作。 ・洗車実習：車両への水かけ、シャンプー洗車、拭き上げ、タイヤワックス塗布等の一連の工程実践、拭き残しのない丁寧な仕上げ作業。 ・用具の手入れ：使用後のモップやタオルの洗浄・乾燥・整理、機械のメンテナンスと適切な保管。
	10	(知及技) 作業日誌や振り返りシート等の記録ツールを用いて、自己の作業状況、できたことや課題を正確に記録することができる。 (思判表力) 記録した内容をもとに、次の実習への具体的な目標を設定したり、自己の作業の定着度を客観的に評価・表現したりできる。 (学・人) 毎時間の振り返り活動を大切に、自ら意欲を持って課題改善や技術向上に取り組むことができる。	(知・技) ワークシート等を用いて、自己の作業内容や時間、進捗を正しく記録できる (思・判・表) 自己の目標設定や振り返り、活動の感想を文章や言葉で適切に表現できる。 (主学) 毎時間の作業後に自己評価を行い、次の活動への意欲を高めることができる。	B 情報機器の活用(振り返り・作業日誌の活用・成果発表)	・作業日誌、振り返りシートの継続的な記入(8時間)：活動ごとの自己評価、できたこと、改善が必要な点の言語化。 ・1年間のまとめと成果発表：身に付いた清掃・洗車技術の振り返り、頑張った点や成長した内容についての発表会およびスライド・ポスター形式でのまとめ、相互評価。
	10	(知及技) 実習での挨拶、接客時のマナー、言葉遣い、報告・連絡・相談など、働く上で必要な基本的マナーを身に付ける。 (思判表力) 相手の立場(教職員、地域住民、顧客等)に応じた適切な対応や、状況に応じた臨機応変な声掛けを判断して行動できる。 (学・人) 地域貢献活動や実習実践を通じて、働くことの喜びや意義を実感し、社会参加への関心を高めることができる。	【知識・技能】 実習時や接客時の基本的な挨拶、マナー、言葉遣いの手順を身に付ける。 ・報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の確実な実行ができる。 (思・判・表) 挨拶・マナーを意識し、状況に応じた臨機応変な接客対応や声掛けができる。 (主学) 地域貢献や校内実習に責任感を持って参加し、笑顔で丁寧に対応できる。	C 産業現場等における実習(地域美化活動・校内等での実践)	・地域美化活動・環境ボランティア：学校周辺や地域公共スペースの清掃実践、地域住民への元気な挨拶とマナーの実践。 ・実践活動の振り返り：活動を通じた地域の方々との関わりや、働く意義、環境を美しくする喜びの共有・協議。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年 (II課程B) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2単位 /70	2年 1名		田盛 千恵利	絵本、紙芝居、実物 を用いた教材等	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小・1段階) (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。(小・1段階) (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。(小・1段階)					
期学	数時	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、物事の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) 身近な大人や友達の話聞き、聞いたことをまとめたり、分からないときは聞き返したりして、話の大体を捉えることができる。 (学・人) いろいろな図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。	(知・技) 拗音や促音等に気をつけ、言葉や表情で他者と対話している。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこと」において、話し手の内容を注意して聞き、まとめたり、聞き返したりして、話の内容を適切に理解している。 (主学) 図書館の様々な本に触れ、興味を持つことができる。他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・オリエンテーション ・図書館オリエンテーション ・自己紹介・他己紹介をしよう	・国語の授業に関すること(学習場所、時間割、授業のルール等) ・1年間の授業内容、図書館の利用方法を確認する。 ・自己、他己紹介に必要な内容を発表する。
		(知及技) 文章を読んだり聞いたりして、事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもつたりすることができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 本文の言葉や語句の意味を基に内容の大まかな流れを理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章を読んで自分の感想を言葉や表情で表現している。 (主学) 他者と自分の考えを伝え合うなど積極的に関わろうとしている。	・絵本や物語、詩を読む ・もう	・絵本や物語、詩を読み、内容を理解する。 ・平和に関する作品鑑賞。 ・絵本の読み聞かせ
		(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 (思判表力) 自己紹介や挨拶など、相手や目的に応じた話し方、敬語で話すことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 敬体と常体があることを理解し、丁寧な言葉を使っている。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこと」において、相手や場面によって適切な言葉づかいを選択し、敬語で話している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・敬語の使い方(就業体験に向けて) ・手紙の書き方	・敬語の使い方を学び、実践する。 ・お礼状を書く。 ・暑中見舞いを書く

2 学期	3 0	<p>(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。</p> <p>(学・人) 我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使ったりすることができる。</p>	<p>(知・技) 社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、思いや考えをまとめたり、周りの人に伝える働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。</p> <p>(主学) 我が国の言語文化に親しみをもち、理解したり、使おうとしている。</p>	<p>「しまくとうばに親しむ」</p> <p>～身近なしまくとうばを理解しよう～</p>	<p>・しまくとうばの日の由来を知る。</p> <p>・しまくとうばの本を参考に単語を学ぶ。</p>
		<p>(知及技) 発声や発音に気を付けたり、声の大きさに気を付けて話すことができる。</p> <p>(思判表力) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から伝えたいことを選び、伝える内容を大まかにまとめることができる。</p> <p>(学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 拗音や促音等に気をつけ、人前で適切な声の大きさで話している。</p> <p>(思・判・表) 「書くこと」において、発表する内容の目的を意識して書き、伝える内容を大まかにまとめている。</p> <p>(主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。</p>	<p>・夏休みの思い出</p> <p>・わかりやすく書く、伝えよう</p>	<p>・夏休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。</p> <p>・自分の「すきなもの、おもしろいもの」について考え、発表する。</p>
		<p>(知及技) 年賀状の基本的な形式(あいさつ・宛名・差出人など)を知ることができる。</p> <p>(思判表力) 誰に出すかを考え、相手に合った内容を選ぶことができる。</p> <p>(学・人) 友達や教師と一緒に活動し最後までやり遂げようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 年賀状の形式を理解し、見本を参考にしながら自分で書くことができる。</p> <p>(思・判・表) 選択肢や支援をもとに、適切な言葉や内容を選ぶことができる。</p> <p>(主学) 支援を受けながら最後まで取り組もうとしている。</p>	<p>・年賀状の書き方</p>	<p>・年賀状を書く</p>
3 学期	1 4	<p>(知及技) 毛筆を使用して姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の大きさ、形に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思判表力) 自分が書いた作品を振り返り、書き表し方を工夫することができる。</p> <p>(学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 筆記具の名称を理解し、姿勢よく、文字の大きさや形に注意して書いている。</p> <p>(思・判・表) 「書くこと」において、教師と共に自分の作品を振り返り、文字の大きさ配置に気を付け工夫している。</p> <p>(主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。</p>	<p>・冬休みの思い出</p> <p>・書初め(新年の抱負)</p>	<p>・冬休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。</p> <p>・筆ペンや毛筆で今年の目標を書く。</p>
		<p>(知及技) 短歌や俳句の読みを聞いたり、模倣したりして言葉の響きやリズムに親しむことができる。</p> <p>(思判表力) 短歌や俳句独特のリズムを味わいながら、工夫して音読することができる。</p> <p>(学・人) 多くの作品に触れ、短歌</p>	<p>(知・技) 古典特有のリズムに親しみ模倣している。</p> <p>(思・判・表) 「読むこと」において、短歌や俳句のリズムを音読や手をたたいたりすることで表現している。</p> <p>(主学) 様々な作品に触れ、短歌や俳句に親しもうとしている。</p>	<p>・百人一首</p>	<p>・百人一首(坊主めぐり、散らし取り)</p> <p>・カルタ</p>

	や俳句に親しむ態度を育てる。			
	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解することができる。 (思判表力) 相手や目的を意識して、敬語を使って話すことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 敬体と常体があることを理解している。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこと」において、相手や場面によって適切な敬語を選択し、話している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・お世話になった先生や先輩に感謝の手紙を書こう	・感謝のメッセージを言葉や絵で表現する。
	(知及技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 新聞やポスター、看板から得られる情報(文字やイラスト)から内容を理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、ポスターやパンフレットに書かれている内容を読み取り、必要な情報を選んだり行動したりしている。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・いろいろな情報の読解 ・1年間のまとめ	・生活に関わる読み物から必要な情報を得、知識を活用する。 ・1年間の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・通年を通して、ひらがな、カタカナ、小学校低学年程度の漢字の読み書きを学習する。 ・通年を通して、季節の詩や歌、本の音読と共に手話表現を学ぶことで伝える手段を増やしていく。 			

令和8年度 高等部（Ⅱ課程B） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
2/70	2学年	村吉 多賀子	「ひとりだちするためのトラブル対策」改訂版		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小・生活科2段階) (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。(小・生活科1段階) (学・人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に自ら働きかけようとし、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。(小・生活科2段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	28	(知及技)身近な日課や授業の予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動する。 (思判表力)身近な人との接し方やきまり・マナーに気づき、それらを守って行動する。 (学・人)自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとするができる。	(知・技)身近な日課や授業の予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとする。 (思・判・表)身近な人との接し方やきまり・マナーに気づき、それらを守って行動しようとする。 (主学)自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとするができる。	オリエンテーション 【基本的生活習慣】 【安全】 【人との関わり】	一年間の授業の流れ ・日課と予定の確認 (コーヒーかすを捨てる) ・校内の防災マークを探そう ・あいさつをしよう
2学期	16	(知及技)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事について知り、それらを行うことができる。 (思判表力)他者との接し方に気づき、自分の物と他者の物の区別を行うことができる。 (学・人)自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとするができる。	(知・技)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事について知り、それらを行うことができる。 (思・判・表)他者との接し方に気づき、自分の物と他者の物の区別を行うことができる。 (主学)自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとするができる。	【手伝い・仕事】 【自分の物と他人の物の区別】 【遊具の後片付け】	・就業体験 ・絵カードを使った区別 ・八重山の遊びと遊具の後片付け
	16	(知及技)伝統的な遊びについて興味をもって知ることができる。 (思判表力)伝統的な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりする。 (学・人)自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	(知・技)伝統的な遊びについて興味をもって知ることができる。 (思・判・表)伝統的な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりする。 (主学)自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	【いろいろな遊び】 【地域の行事への参加】	・八重山の遊びと遊具の後片付け
3学期	10	(知及技)社会の変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学・人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に自ら働きかけようとし、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。	(知・技)社会の変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (主学)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に自ら働きかけようとし、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとする。	一年間の振り返り	・一年間の振り返り ・今後に向けての展望
留意点 引継ぎ等	・就業体験実習、修学旅行、交流学习との関連付け、各活動の事前学習に対するスムーズな知識の接続が行えるようにする。 ・地域の年中行事などにも関連した学習を行う。				

令和8年度 高等部 II 課程B 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者		
2/70	2学年		山城		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解する。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力,基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力を身につける。 (学・人)数学的活動の楽しさに気付き,関心や興味を持つことができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)身の回りのものに気付き,対応させたり,組み合わせたりすることなどについての技能を身につける。 (思判表力)身の回りにあるもの同士を対応させたり,組み合わせたりすることで数量の性質を気付く力を身につける。 (学・人)数量や図形に気付き,関心をもって学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技)身の回りのものに気付き,対応させたり,組み合わせたりすることなどについての技能を身につけている。 (思・判・表)身の回りにあるもの同士を対応させたり,組み合わせたりすることで数量の性質を気付く力が身につけている。 (主学)数量や図形に気付き,関心をもって学習に取り組もうとしている。	数量	・2つのものを比べて見分ける(形、色、大きさ)。
2学期	24	(知及技)身の回りのものの上や前後,形の違いに気付き,違いに応じて関わることについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力)身の回りのものの中に注目し,同じ形を捉えたり,形の違いを捉えたりする力を養う。 (学・人)図形に気付き,関心をもって学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技)身の回りのものの上や前後,形の違いに気付き,違いに応じて関わることについての技能を身に付けている。 (思・判・表)身の回りのものの中に注目し,同じ形を捉えたり,形の違いを捉えたりする力が身につけている。 (主学)図形に気付き,関心をもって学習に取り組もうとしている。	図形	・2つのものを比べて見分ける(上下左右)。 ・同じ形のものを見つける。
	20	(知及技)身の回りにあるものの量の大きさに気付き,量の違いについての感覚を養う。 (思判表力)身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し,量の大きさにより区別する力を養う。 (学・人)数量や図形に気付き,関心をもって学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技)身の回りにあるもの量の大きさに気付き,量の違いについての感覚が身につけている。 (思・判・表)身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し,量の大きさにより区別する力が身につけている。 (主学)数量や図形に気付き,関心をもって学習に取り組もうとしている。	量	・量の大きさ(大きい、小さい、多い、少ない等)
3学期					
留意点 引継ぎ等	生徒の心身の体調を優先し、授業を行う。				

令和8年度 高等部 II 課程 B 理科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		2学年		東盛 揚	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 (思判表力)自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人)自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)1年間の授業の流れを確認できる。 (思判表力)自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人)自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。	(知・技)職員とともに授業の流れを理解している。 (思・判・表) (主学)職員とともに活動しようとしている。	オリエンテーション	・1年間の授業の流れ
	10	(知及技)熱を感じることができ きる。 (思判表力)自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人)自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。	(知・技)職員とともに熱を感じることができ る。 (思・判・表) (主学)職員とともに活動しようとしている。	熱を感じる	・熱を感じてみよう
2 学期	10	(知及技)生き物にふれることができる。 (思判表力)自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人)自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。	(知・技)職員とともに生き物にふれることができる。 (思・判・表) (主学)職員とともに活動しようとしている。	八重山の自然と生き物	・校庭を散策しよう ・生き物にふれてみよう

3 学 期	10	(知及技)風を感じることができ る。 (思判表力) (学・人)自然の事物・現象に 関心や探究心を持ち、意欲的 にそれらを探究しようとする とともに、科学的に探究する力 を身に付ける。	(知・技)職員とともに風を感 じることができる。 (思・判・表) (主学)職員とともに活動しよ うとしている。	風を感じる	・風を感じてみよう
留意点 引継ぎ等	自然の事物・事象をできるだけ見せる(体験させる)ことに努めるが、できない場合には ICT 機器を効果的に活用してい く。				

令和8年度 高等部 II課程 B 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書/副教材	
2/70			外間・坂本		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)音や音楽に注意や関心をむけ、音楽表現を楽しむために必要な技能を身につける。 (思判表力)音や音楽に気づきながら興味を示して聴くことができる。 (学・人)教師や仲間と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。				
期学数時	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
年間を通して行う	70	【歌唱】 (知及技)音楽の流れや曲想を感じ取り、関心を向けるようにする。 (思判表力)発声や表情、身振りをなどで歌いたい気持ちを表現することができるようにする。 (学・人)教師や仲間と一緒に音を楽しむことができるようにする。	【歌唱】 (知・技)音楽の流れや曲想を感じ取り、関心を向けている。 (思・判・表)発声や表情、身振りをなど歌いたい気持ちを表現している。 (主学)教師や仲間と一緒に音を楽しもうとしている。	【歌唱】 ・校歌 ・季節の歌 ・その他	【歌唱】 名前の歌に合わせて返事や、楽器を鳴らす。 季節の歌を聴いたり、楽器を鳴らしたりする。
		【器楽】 (知及技)教師と一緒に楽器に触れ、音が鳴ることに気付くことができるようにする。 (思判表力)自分で音を鳴らしたり、補助教材を使用して音を鳴らしたりすることができるようにする。 (学・人)楽器の音に興味関心を示したり、音を鳴らそうとすることができるようにする。	【器楽】 (知・技)教師と一緒に楽器に触れ、音が鳴ることに気付く。 (思・判・表)自分で音を鳴らしたり、補助教材を使用して音を鳴らしたりする。 (主学)楽器の音に興味関心を示したり、音を鳴らそうとしている。	【器楽】 ・打楽器 ・キーボード	音の出やすい楽器や持ちやすい楽器を教師が選んだり、自分の好きな楽器を選んで演奏する。 スイッチ教材等を使用し自分で音を鳴らせるよう支援する。
		【身体表現】 (知及技)曲の緩急や音量を感じ取りながら、教師と一緒に身体を動かすことができる。 (思判表力)教師と一緒に身体を動かしながら表現することができる。 (学・人)仲間の動きや曲の緩急、音量を感じ取りながら教師と一緒に身体を動かせるようにする。	【身体表現】 (知・技)曲の緩急や音量を感じ取りながら、教師と一緒に身体を動かしている。 (思・判・表)教師と一緒に身体を動かしながら表現する。 (主学)仲間の動きや曲の緩急、音量を感じ取りながら教師と一緒に身体を動かそうとしている。	【身体表現】 ・リトミック ・手遊び	教師と一緒に音楽を使ったマッサージやタッピング、手遊びをする。 様々な拍子の音楽を聴きながら、身体タッピングし拍子が感じられるようにする。
		【鑑賞】 (知及技)様々なジャンルの音楽に触れ、好きな音色や楽器の音を見つけられるようにする。 (思判表力)音や音楽を聴いて自分なりに楽しめるようにする。 (学・人)仲間の演奏している音や、身近な人の演奏を聴き、音色や楽器の音を見つけられるようにする。	【鑑賞】 (知・技)様々なジャンルの音楽に触れ、好きな音色や楽器の音を見つける。 (思・判・表)音や音楽を聴いて自分なりに楽しむ。 (主学)仲間の演奏している音や、身近な人の演奏を聴き、識名音色や楽器の音を見つけようとしている。	【鑑賞】 ・様々なジャンルの曲	季節の音楽や様々なジャンルの音楽を見たり聴いたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 II課程 B 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2 / 7 0			宮里 志織	なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技) スライム作りの工程と一緒にやることができたか (思判表力) 色が混ざる様子や感触が変わることに気づき興味を持つ (学・人) 触ったり、握った時の音を聞いたりする	(知・技) 触れることができたか (主学) 触れて反応することができたか	彫刻/鑑賞 「感触」	・スライム作りの工程を教師と一緒に行う ・スライムのみの感触と風船に入れた後の感触を触れて確かめる
	9	(学・人) 音や映像に反応することができる	(主学) 音の違いや映像の変化を感じて反応することができた	デザイン/映像メディア表現/鑑賞 「音と映像」	・chrome musiclab で音や映像を感じる
	10	(学・人) 学校内にある植物の色や形の違い、匂い等に触れることができる	(主学) 植物の色や形の違い、匂い等に触れることができた	デザイン/鑑賞 「自然」	・校内を散歩しながら、様々な植物に触れる
2 学期	10	(知及技) 水の音や感触などを感知する (思判表力) 水の音や色の透け感などに気づくことができる (学・人) 色水に触れることができる	(知・技) 水に反応することができたか (思・判・表) 水の音や色の透け感に気づき反応することができたか (主学) 色水に触れることができたか	絵画/鑑賞 「色水を感じよう」	・五感で色水に触れる
	20	(知及技) 土と水を混ぜながら変化することを知る (思判表力) ぬるぬるする粘土で身体のいろいろな部分にあてられる (学・人) 土に触れることができる	(知・技) さらにさらさらからぬるになる土の変化を感じることができたか (思・判・表) 身体の各部分で土に触れ反応することができたか (主学) 土に触れることができたか	彫刻/鑑賞 「ぬるぬるの感触から」	・乾燥土から粘土になる変化を感じる
3 学期	7	(知及技) 土を身体に当てて造形を行うことができる (思判表力) 土の温度や火の温度を感じるができる (学・人) 土に触れることができる	(知・技) 土を身体に当てて造形を行うことができたか (思・判・表) 土の温度や火の温度を感じ反応することができたか (主学) 土に触れることができたか	彫刻/デザイン/鑑賞 「陶板→窯焼き」	・陶板の制作 ・陶板の窯焼き

7	(知及技) 描画材を全身で扱うことができる	(知・技) 絵の具やペンなどの描画材を教師と共に扱うことができたか	絵画/鑑賞 「色にまみれて」	・様々な描画材で、教師と一緒に全身で描く
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・B鑑賞については、視覚だけではなく、嗅覚・触覚・聴覚、場合によっては味覚も含めて五感を使って感じるようにしている。 ・授業内での調べ学習、メディア表現ではタブレット端末を活用している。 			

令和8年度 高等部 (II課程Bグループ) 体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2 / 7 0			兼本浩		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する		(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとする。	(知・技) 教師と一緒に簡単な手や足の運動を行うことができる。 (思・判・表) 手足を動かしたりすることの心地よさを表現している。 (主学) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、運動をしようとしている。	・体づくり運動遊び ・ふれあい体操	簡単な手や足の運動。 ・手足を伸ばす ・手足を曲げる ・腕を振ったり、回したりする ・肩の上げ下げ ・膝の曲げ伸ばし。
		(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従ってボール遊びをしようとする。	(知・技)・教師と一緒にボールを転がす、投げる、蹴る、当てるなどをして楽しくあそぶことができる。 (思・判・表) 教師と一緒にボールに触れ、手足を動かしたり、歩いたり走ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従ってボール遊びをしようとしている。	しっぽとり 鬼ごっこ ボール運び 鬼	・教師と一緒に走ったり歩いたりして鬼から逃げる。 ・教師と一緒に相手のフラッグを捕る ・教師と一緒にフラッグを捕られないように走り、ボールを持つてはこぶ。 ・教師と一緒に相手のフラッグを捕る。
1学期	26	(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しくすることができる。 (思判表力) 水の中で浮いたり、手足を動かしたり、体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図	(知・技) 教師と一緒に水にふれたり、浮いたり、温かい、冷たいと感じたりしながら、あそぶことができる。 (思・判・表) 水の中で浮いたり、手足を動かしたりすることの心地よさを表現している。 (主学) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、水遊びをし	水遊び	教師と一緒に ・水にふれたり、すくったりしてあそぶこと。 ・水をはじいたり、かけたりすること。 ・水に浮きゆらゆら楽しむこと。 教師と一緒に、浮いたり手足を動かしたりして楽しく体を動かすことができるようにする。 ・教師と一緒に水をはじいたり、かけたりすることができる。 ・教師と一緒に水に浮きゆらゆら

		や指示に従って水遊びをしようとする事ができる。	ようとしている。		楽しむことができる。
2 学期	30	<p>(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って表現遊びをすることができる。</p>	<p>(知・技) ・音楽を感じながら自由に体を動かしたり、先生と一緒に動かしたりすることができる。</p> <p>・音楽を感じながら先生と一緒に歩いたり、走ったりすることができる。</p> <p>(思・判・表) 音楽や太鼓の響きやリズムをに触れ、体を動かす楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 先生と一緒に簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。</p>	<p>・表現遊び エイサー</p> <p>・表現遊び ダンス (特体連ダンス)</p>	<p>・音楽を感じながらと自由に体を動かしたり、先生と一緒に動かしたりする。</p> <p>・曲に合わせて、教師と一緒に手足を動かしたり、自由に体を動かしたりする。</p>
3 学期	14	<p>(知及技) 教師と一緒に、走ったり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思判表力) 手足を動かしたり、歩いたり走ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って走る運動遊びをしようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・教師の言葉かけやリズムに合わせて一定の時間や距離と一緒にゆっくり走ったり歩いたりすることができる。</p> <p>(思・判・表) 手足を動かしたり、歩いたり走ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って走る運動遊びをしようとしている。</p>	<p>・走る運動遊び 持久走</p>	<p>・教師の言葉かけやリズムに合わせて一定の時間や距離と一緒にゆっくり走ったり歩いたりすること。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 II 課程 B 職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書／副教材	
1/35	2 学年		武内・大濱・ 浅井		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより健康に過ごすための習慣を身につける。 (思判表力)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより快・不快を表現する。 (学・人)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより笑顔を増やす。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技)身の回りの簡単な手 伝いや仕事を教師と一緒に 行うことができる。 (思判表力)自分自身や身の回 りのことに関心を持つこと ができる。 (学・人)教師と一緒に安全に 活動することができる。	(知・技)手、目、耳の感覚を活 用した活動を行っている。 (思・判・表)手を自ら伸ばし、作 業を見て行っている。快・不快 の表現している。 (主学)作業を見て行っている。 笑顔を見せている。	A 職業生活 作業	室内外の作業・活動
		(知及技)表情で体調を伝える ことができる。体操を教師と一 緒に行うことができる。 (思判表力)身の回りの人との 関わりに関心を持つこと。 快・不快を表現する。 (学・人)笑顔を見せる。	(知・技)体操を教師と一緒に 行っている。 (思・判・表)呼びかけに顔をあげ 反応する。 快・不快を表現している。 (主学)笑顔を見せている。	A 職業生活 健康管理 人との関わり 余暇活動 基本的な生活習慣 体操	適切な休憩時間の過ごし方及び 体調管理 ふれあい体操やストレッチ体操
		(知及技) iPad に触れ操作する。 (思判表力) 実習での様子を映 像で発表することができる。 (学・人)画面を注視すること ができる。笑顔を見せる。	(知・技) iPad で動画を見て iPad になれる。 (思・判・表)教師と一緒に発表を 行っている。 (主学)画面を見て触れている。 笑顔を見せている。	B 情報機器の活用 就業体験振り返り 余暇活動	iPad の利用 音楽や動画を楽しむ活動
		(知及技) 実習に関する学習を 意欲的に行う。 (思判表力)実習での様子を映 像で発表することができる。 (学・人)写真や動画で実習を振 り返ることができる。	(知・技)実習に関する活動を意 欲的に行っている。 (思・判・表)快・不快を表現 している。 (主学)笑顔を見せている。	C 産業現場等におけ る実習	就業体験実習及び事前事後学習 販売学習にむけての事前事後学習及び 販売学習
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部2学年 II課程B 家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
1 / 35	2学年 (1名)		登川 伶		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)家族や家庭生活について、見たり、触れたり、体験したりする活動を通して理解を深める。また、衣・食・住、消費、環境などについて、職員と一緒に取り組みながら、生活に必要な基本的な動作や技能を身につけられるようにする。(2段階) (思判表力)家庭や学校生活の中で、職員とともに生活上の困りごとや課題に気づけるようにする。また、課題の解決に向けた活動に参加し、その様子(選択行動、表情、動きなど)から、自分なりの考えや意思を表現できるようにする。(2段階) (学・人)家族や地域の人々との関わり、そして学校での共同活動を通して、よりよい生活に向けて職員と一緒に工夫しながら取り組もうとする態度を養う。(2段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技)自分の成長と家族や家庭生活、地域の人々との関わりに関する学習活動を通して、協力し合うことの大切さに気づくことができる。	(知・技)自分の成長と家族や家庭生活、地域の人々との関わりに関する学習活動を通して、協力し合うことの大切さに気づいている。	・自分の成長 ・家族、家庭生活 (A:家族・家庭生活)	・自分を知ろう ・家族と自分 ・家族と防災 ・家族へのプレゼントづくり
	6	(思判表力)家族や地域の人々とのよりよい関わり方について、職員が示す場面や活動の中で、自分にできる行動を選んだり、動作や表情で意思を表したりして取り組むことができる。 (学・人)よりよい生活の実現に向け、学習活動に安心して参加し、自分のペースで取り組もうとする姿勢を示すことができる。	(思・判・表)家族や地域の人々とのよりよい関わり方について、職員が示す場面や活動の中で、自分にできる行動を選んだり、動作や表情で意思を表したりして取り組んでいる。 (主学)よりよい生活の実現に向け、学習活動に安心して参加し、自分のペースで取り組んでいる。	・保育 ・福祉 (A:家族・家庭生活)	・幼い頃を振り返る ・命の大切さ ・成長について ・高齢者との関わり ・共生社会について ・地域での防災
2学期	15	(知及技) ・食生活に関する学習を通して、職員とともに栄養への理解を深め、簡単な調理に参加することができる。 ・衣生活に関する学習を通して、職員の支援を受けながら衣服の管理や状況に応じた衣服の選択を行い、安全に配慮して縫製作業に取り組むことができる。	(知・技) ・食生活に関する学習を通して、職員とともに栄養への理解を深め、簡単な調理に参加している。 ・衣生活に関する学習を通して、職員の支援を受けながら衣服の管理や状況に応じた衣服の選択を行い、安全に配慮して縫製作業に取り組んでいる。	・食生活分野 (B:衣食住の生活)	・栄養について (栄養のうた、給食について等) ・地域の食生活 ・防災食
		(思判表力)衣生活及び食生活に関する学習や実習を通して、生活の中の課題に職員とともに気づき、解決に向けて自分にできる行動を選び、動作や表情などで示しながら取り組むことができる。 (学・人)よりよい生活の実現に向け、学習活動に安心して参加し、自分のペースで取り組もうとする姿勢を示すことができる。	(思・判・表)衣生活及び食生活に関する学習や実習を通して、生活の中の課題に職員とともに気づき、解決に向けて自分にできる行動を選び、動作や表情などで示しながら取り組んでいる。 (主学)よりよい生活の実現に向け、学習活動に安心して参加し、自分のペースで取り組んでいる。	・衣生活分野 (B:衣食住の生活)	・衣服の選択 ・衣服の管理 ・小物製作 ・防災グッズづくり

3学期	7	<p>(知及技)消費生活に関わる学習活動を通して、職員とともに購入や支払いの仕組みや生活が環境に与える影響などについて理解を深め、できる範囲で計画的な消費行動に参加することができる。</p> <p>(思判表力)自らの消費行動について、職員と一緒に振り返り、よりよい生活に必要な課題に気づき、解決策を他者と協働して考え、自分にできる行動を動作や表情で示しながら取り組むことができる。</p> <p>(学・人)よりよい生活の実現に向け、学習活動に安心して参加し、自分のペースで取り組もうとする姿勢を示すことができる。</p>	<p>(知・技)消費生活に関わる学習活動を通して、職員とともに購入や支払いの仕組みや生活が環境に与える影響などについて理解を深め、できる範囲で計画的な消費行動に参加している。</p> <p>(思・判・表)自らの消費行動について、職員と一緒に振り返り、よりよい生活に必要な課題に気づき、解決策を他者と協働して考え、自分にできる行動を動作や表情で示しながら取り組んでいる。</p> <p>(主学)よりよい生活の実現に向け、学習活動に安心して参加し、自分のペースで取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活 ・環境 (C:消費生活、環境) ・住生活 (B:衣食住の生活) ・学習のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金について ・買い物学習 ・環境を整える、考える ・安心・安全な住まい ・1年の振り返り
留意点 引継ぎ等	<p>全学期において、防災に関する学習や調理及び縫製実習を実施する</p>				

単位数 /配当時 数	生徒		担当者	教科書/副教材	
1/35	2学年		仲田綾子		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技) 日常会話の基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして教師と共に活動的で楽しい時間を過ごすことができる。 (思判表力) 日常会話の基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして教師からの働きかけに身体の動きや表情で応えることができる。 (学・人) 日常会話の基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして教師と共にコミュニケーションを楽しむことができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 支援を受けながら英語の挨拶や名前の言い方を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら名前を言って挨拶をし合う。 (学・人) 支援を受けながら相手に伝わるように名前を言って挨拶を楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	あいさつして友だちに	Hello. Hi. I' m (Hinata). Goodbye. See you.
	3	(知及技) 支援を受けながら感情や状態を尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら表情やジェスチャーをしながら挨拶をし合う。 (学・人) 支援を受けながら表情やジェスチャーで挨拶を楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	ごきげんいかが	How are you? I' m (happy).
	3	(知及技) 支援を受けながら1から20までの数の言い方や数の尋ねることを楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら数を尋ねたり答えたりすることを楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	数えてあげよう	How many (apples)? (Ten) (apples). Yes. That' s right. No. Sorry.

	4	(知及技) 支援を受けながら色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら自分の好みを伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら自分の好みを紹介することを楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	好きなものをつたえよう	I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue).
	5	(知及技) 支援を受けながら身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら何が好きかを尋ねたり答えたりすることを楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	何が好き?	What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).
2 学期	5	(知及技) 支援を受けながら英語の音声や読みを楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら自分の姓名の頭文字を伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら自分の姓名の頭文字を伝えることを楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	アルファベットとなかよし	(The "A" card), please. Here you are. Thank you. You're welcome.
	5	(知及技) 支援を受けながら形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら自分の作品を紹介することを楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	カードをおくろう	What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.
3 学期	4	(知及技) 支援を受けながら身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながらク	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。	これなあに?	What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.

	イズを出したり答えたりし合う。(主学)日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。		
3	(知及技) 支援を受けながら誰かと尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら絵本などの短い話を見て、聞く。 (学・人) 支援を受けながら絵本などの短い話を反応しながら見る、聞くことを楽しむ。	(知・技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思・判・表) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応じている。 (主学) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	きみはだれ? Are you (a dog)? Yes, I am. / No, I' m not. Who are you? I' m (a dog). Who am I? Hint, please.
留意点 引継ぎ等			

令和8年度 高等部 II 課程 B 情報科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
1 / 35	2 学年		浦添		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)さまざまな情報機器について知る。 (思判表力)さまざまな情報機器を使って気持ちを表現する力を養う。 (学・人)さまざまな情報機器に慣れ親しもうとする態度を養う。					
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)コンピュータに触れることができる。 (思判表力)コンピュータを活用して、自分の気持ちを表現することができる。 (学・人)入力装置に触れ、機器の動きや反応を見て楽しむことができる。	(知・技)コンピュータに触れようとしている。 (思・判・表)コンピュータを活用して、伝えたいことを表現しようとしている。 (主学)入力装置に触れ、機器の動きや反応を見て楽しむようとしている。	・コンピュータに触れてみよう。 ・地域の問題について考える。	・コンピュータの起動・終了 ・情報機器の基本操作の確認 ・情報機器に基本操作を知る ・iPad 画面タッチで入力してみよう
2 学期	14	(知及技) iPad に触れることができる。 (思判表力) iPad を活用して、伝えたいことを表現することができる。 (学・人) iPad に慣れ親しむことができる。	(知・技) iPad に触れようとしている。 (思・判・表) iPad を活用して、伝えたいことを表現しようとしている。 (主学) iPad に触れ楽しむようとしている。	・iPad に触れてみよう。 ・地域の防災について知る	・iPad の起動・終了 ・iPad の基本操作を確認 ・情報機器に基本操作を知る ・音と光に対する反応
3 学期	9	(知及技) アプリケーションを体験することができる。 (思判表力) アプリケーションを操作し楽しむことができる。 (学・人) 情報機器に自ら触れることができる。	(知・技) 教師の手添えによりアプリケーションを体験しようとしている。 (思・判・表) アプリケーションを操作し楽しむようとしている。 (主学) 情報機器に自ら親しもうとしている。	・さまざまなアプリケーションを体験してみよう。	・iPad でアプリケーションの活用
留意点 引継ぎ等	・実生活と教科の学習を関連付けた教材の工夫。				

令和8年度 高等部 II課程B 道徳 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒		担当者	教科書/副教材	
I/35	2 学年			なし	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 学校の教育活動全体を通し、様々な道徳的価値や規律、社会生活におけるルールについて触れ、基本的な生活習慣や道徳的意義についての理解を深める。 (思判表力)自己のあり方や他者との関わりについて多角的に考え、道徳的な場面における適切な判断、自己の心情や考えを言葉や態度で表現することができる。 (学・人)明るく豊かな道徳的心情、自他の生命や権利を尊重する態度、より良い学校生活や社会の実現に進んで参画しようとする実践意欲を育てる。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	13	(知及技)自分自身にとっての道徳のあり方や、集団生活における基本的な礼儀・作法の意義を理解することができる。 (思判表力)学校生活で期待していることや、他者への親しみの気持ち・感謝の心情を思い起こし、言葉や発表を通して適切に表現できる。 (学・人)自ら進んで挨拶をし、他者への親しみの気持ちを持って学校生活を豊かにしようとする態度を養う。	(知・技)自身にとっての道徳のあり方について触れ、理解しようとするができる。 (思・判・表)他者への親しみの気持ちを伝えることができる。学校生活で期待していることを思い起こし、発表することができる。日常生活の中で感謝の気持ちを表現できる。 (主学)他者への親しみの気持ちを伝えようとしている。学校生活で期待していることを思い起こし、発表している。日常生活の中で感謝の気持ちを表現しようとしている。	A オリエンテーション・基本の礼儀(挨拶・マナー・学校生活)	・オリエンテーション：道徳の授業の進め方や、自分にとっての道徳のあり方について考える。 ・挨拶と礼儀作法：場面に応じた適切な挨拶の仕方、他者への親しみの気持ちを伝えるマナーの実践。 ・学校生活の振り返り：新学期や日々の生活で期待していること、頑張りたいことを思い起こして発表する。 ・感謝の表現：日常生活の中で家族や友人、教職員に対して感謝の気持ちを言葉や態度で表現する活動。
	15	(知及技)社会や学校生活における規律(決まり)の必要性を理解し、自身の健康や安全を守るための正しい行動習慣を身に付けることができる。 (思判表力)他者と協調することの重要性や、与えられた役割を果たす意味を考え、状況に応じた適切な行動を判断できる。 (学・人)共有する場所や物を大切に扱い、自分の健康管理や係活動などの役割に責任を持って取り組むことができる。	(知・技)決まりの必要性を理解し、共有する場所や物を大切に。自分の健康に気をつけ、健康安全・他者関係・役割を全うする。自分の健康に気をつけ、健康安全な態度で活動することができる。 (思・判・表)他者と協調することについて考える。必要な役割や与えられた課題の遂行に向けて見通しを持つことができる。 (主学)決まりを守り、共有の物や場所を大切に扱おうとしている。自分の健康に関心を持ち、自己管理を行おうとしている。・他者と協力し、自らの役割を最後までやり遂げようとしている。	B 社会生活の規律と自己管理(決まり・健康・健康安全・他者関係・役割遂行)	・決まりとマナー：公共のルールや学校の決まりの必要性について理解を深め、共有スペースや物品を大切に使う態度を養う。 ・健康と安全：自らの心身の健康に関心を持ち、安全で健康的な生活習慣について考える。 ・他者との関係：他者と協調し、お互いを尊重し合う関係性について考えるグループワーク。 ・業務や課題の遂行：学級や学校内での必要な役割(係活動等)や与えられた課題に対し、見通しを持って最後までやり遂げる実践。
	7	(知及技)伝統文化や郷土の良さ、国際社会の多様性に触れ、それぞれの文化的背景や道徳的価値観を理解できる。 (思判表力)地域や世界の文化と自分たちの生活との結びつきを捉え、多様な生き方や価値観を尊重するための考えを表現できる。 (学・人)地域社会のイベントや国際的な話題に関心を持ち、自ら進んで多様な文化を受け入れ、尊重しようとする態度を養う。	【知識・技能】伝統文化や郷土の良さ、国際社会の多様なあり方について触れ、知ることができる。 (思・判・表)自分たちの文化と他者の文化の共通点や相違点を見つけ、尊重する大切さについて考えることができる。 (主学)伝統文化や地域の行事、国際的な文化交流に関心を持ち、積極的に関わることができる。	C 文化の尊重と国際理解(伝統文化・郷土・国際社会・多様性)	・伝統文化と郷土の理解：地域に伝わる伝統、文化、行事の良さに触れ、郷土を愛する心を育む。 ・国際理解と多面的価値：世界には様々な文化や生活習慣があることを知り、多様性を認め合う態度を養う。 ・まとめの活動：文化の尊重や多様な生き方について、自分の考えをワークシートにまとめたり、意見交換を行ったりする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材
2単位 /70	1~3学年		各担当	なし
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標 (知及技)それぞれの役割を考えて行動できる。 (思判表力)各行事において、役割を理解して集団行動できる。 (学・人)自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かすことができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)それぞれの役割を考えて行動できる。 (思判表力)各儀式における意義を理解し、集団行動ができる。 (学・人)避難訓練や各検査において、指示に従い集団行動ができる。	(知・技)学級における集団行動や自律的な生活を送ることの意義を理解している。 (思・判・表)学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見出し、課題を解決するための実践をしている。 (主学)集団や社会の一員として、よりよい生活を作ろうとしている。	・ホームルーム活動 ・入学式・始業式 ・身体測定 ・春の遠足 ・地震火災津波避難訓練 ・内科、歯科検診 ・心電図検査 ・あおぞら集会 ・不審者侵入対応訓練 ・校外学習 ・1学期終業式
2学期	30	(知及技)それぞれの役割を考えて行動できる。 (思判表力)各儀式における意義を理解し、集団行動ができるようにする。 (学・人)避難訓練において、指示に従い集団行動ができる。	(知・技)学級における集団行動や自律的な生活を送ることの意義を理解している。 (思・判・表)学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見出し、課題を解決するための実践をしている。 (主学)集団や社会の一員として、よりよい生活を作ろうとしている。	・ホームルーム活動 ・2学期始業式 ・あおぞら集会 ・避難訓練 ・校外学習 ・2学期終業式
3学期	14	(知及技)それぞれの役割を考えて行動できる。 (思判表力)各儀式における意義を理解し、集団行動ができるようにする。 (学・人)各行事において、指示に従い集団行動ができる。	(知・技)学級における集団行動や自律的な生活を送ることの意義を理解している。 (思・判・表)学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見出し、課題を解決するための実践をしている。 (主学)集団や社会の一員として、よりよい生活を作ろうとしている。	・ホームルーム活動 ・3学期始業式 ・あおぞら集会 ・八特文化祭 ・校外学習 ・高等部卒業式 ・幼小中学部卒業式 ・修了式、離任式、卒業式

令和8年度高等部（Ⅱ課程）総合的な探究の時間 年間指導計画

教科/科目	総合的な探究の時間	単位数/配当時数	2/70
学年	1～3学年	担当者	各担当
教科書	なし		
副教材	なし		

到達目標 ※生徒の発達段階に応じて変更

ア 知識及び技能

身近な生活や地域に関する学習や体験を通して、課題に気づき、その課題を解決するために必要な基本的な知識や技能を身に付けることができる。また、学んだことの意味や大切さを理解し、自分の生活に生かそうとすることができる。

イ 思考力・判断力・表現力

活動の中から「なぜだろう」「どうしたらよいのだろう」という問いを見つけ、必要な情報を集めたり比べたりしながら、自分なりに考え、まとめ、分かりやすく伝えることができる。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自分から学習に取り組もうとする気持ちを持ち、仲間や周囲の人と協力しながら活動することができる。よりよい生活や地域づくりに役立つ行動をしようとするすることができる。

期月	時数	指導項目	指導内容・活動【ねらい】
4	6	地域と防災①	第1段階：地域を知る 【知・技】地域に関する学習や体験を通して、課題に気づき、その課題を解決するために必要な知識や技能を身につけることができる。
5	7	就業体験	【知・技】キャリア形成に必要な基本的な知識や技能を身につけることができる。
6	9	就業体験・平和について	【思・判・表】キャリア形成に必要な情報を集めたり比べたりしながら、自分なりに考え、まとめ、分かりやすく伝えることができる。
7	6	就業体験・平和について	【学・人】自ら学習に取り組もうとする気持ちを持ち、安全で平和な地域づくりに役立つ行動をしようとするすることができる。
9	7	地域と防災②	第2段階：地域の課題を整理する～宮良防災マップの作成 【思・判・表】活動の中から「なぜだろう」「どうしたらよいのだろう」という問いを見つけ、必要な情報を集めたり比べたりしながら、自分なりに考え、まとめ、分かりやすく伝えることができる。
10	11	修学旅行に向けて	修学旅行に向けた防災計画 【思・判・表】修学旅行先と住んでいる地域を比べ、防災対策のちがいや共通性について考えることができる。
11	8	地域と防災③	第3段階：地域を伝える～宮良防災マップの発表に向けて 【学・人】自分から学習に取り組もうとする気持ちを持ち、仲間や周囲の人と協力しながら活動することができる。よりよい生活や地域づくりに役立つ行動をしようとするすることができる。

12	7	地域と防災③	宮良防災マップの発表 【思・判・表】必要な情報を集めたり比べたりしながら、他者と協力して自分なりに考え、まとめ、分かりやすく伝えることができる。
1	8	地域と防災④	第4段階：次の探究に向けて
2	7	まとめ	次の探究に向けて
3	4	まとめ	次の探究に向けて